

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

目 次

◎ 会務報告	1
◎ 総括	2
1. 第5次四日市地域福祉活動計画の策定	3
2. 市民啓発事業	
(1) 社協だより「かけはし」の発行	4
(2) 四日市市社会福祉大会の開催	5
(3) ホームページの更新	5
3. 福祉ボランティアのまちづくり事業	
(1) 相談援助業務	6
① ボランティアコーディネート業務	
(2) 情報収集と提供	6
① ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行	
② ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成	
③ ホームページの更新	
④ フェイスブックの更新	
(3) ボランティアのきっかけづくり事業	6
① はじめてのボランティア説明会の開催	
② サマーチャレンジ2015の開催	
③ 福祉教育推進事業・福祉教育への支援	
(4) 人材育成事業	8
① ボランティアリーダー研修会の開催	
(5) 活動支援（助成）事業	9
① 外出援助サービス保険料助成事業の実施	
② ボランティア活動保険の加入促進	
③ 全国ボランティアフェスティバルふくしまの参加支援	
(6) 協働事業	9
① 四日市ボランティアキャンペーンの開催	
② ボランティアのつどいの開催	
③ 学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業	
④ コーディネートを考える会議の開催	
(7) 防災・災害支援事業	12
① 台風18号災害の被災地支援に係る職員派遣	
4. ふれあいのまちづくり事業	
(1) 地区社会福祉協議会支援	13
① 地区社協への運営費等の助成	
② 地区社協指導者研修会等の実施	
③ 福祉協力員等活動費補助事業の実施	
④ 地域福祉活動メニュー事業の実施	

(2) 地域福祉活動支援	19
①福祉コミュニティの推進	
②先駆的事業の開発	
・四日市市地域後見サポート事業の実施	
・生活困窮家庭支援、リユース事業	
・なるほど出前講座の開催	
(3) 四日市市福祉教育大学	21
①四社協福祉ゼミナールの開催	
②地域福祉ゼミナールの開催	
③専門ゼミナールの開催	
④夢をかなえる授業の開催	
(4) 生活支援コーディネーター	22
(5) 地域福祉活動事業	22
①拠点事業	
(6) 福祉総合相談事業	22

5. 福祉事業

(1) 介護保険関連事業	23
①居宅介護事業（訪問介護事業「介護予防事業」含む）の実施	
②居宅介護支援事業の実施	
③介護保険認定調査業務の実施	
④通所介護事業「ゆりかもめ」（介護予防事業含む）の実施	
(2) 在宅福祉事業	26
①日常生活自立支援事業の実施	
(3) 障害者自立支援事業	27
①居宅介護事業の実施	
(4) 福祉施設等管理運営事業	27
①中地域包括支援センター	
②くす在宅介護支援センター	
③中央老人福祉センター	
④障害者自立支援施設「共栄作業所」	
⑤障害者自立支援施設「たんぽぽ」	
⑥障害者自立支援施設「あさけワークス」	
⑦障害者福祉センター	
⑧障害者自立生活支援センター「かがやき」	
⑨視覚障害者福祉センター	
⑩障害者就業・生活支援センター「プラウ」	
⑪障害者就労支援事業ワークセンター	
⑫よっかいち福祉の店	
⑬おもちゃ図書館	
⑭母子・父子福祉センター	

6. その他の事業

(1) 福祉サービス相談窓口の開設	40
(2) 職員の安全衛生	41
(3) 職員研修の実施	41

(4) 資金貸付事業の実施	42
①生活福祉資金貸付事業の実施	
②資金貸付事業の実施	
(5) 実習生等の受け入れ	42
(6) 財政基盤の安定化	43
①社会福祉協議会会員会費	
②善意の基金	
③収益事業の実施	
・「喫茶ふれあい」の経営	
・「総合会館売店」の受託運営	
④共同募金運動（三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業）の推進	
⑤寄付金等	
⑥資産運用	
(7) 生活困窮者支援事業	44
①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）	
②緊急時物品等支援事業	

【会 務 報 告】

理事会の開催

- ・第1回 平成27年5月25日（月）午後1時30分～3時30分 市総合会館8階第3・4会議室
議 案 1. 理事の一部変更について
2. 会長、副会長等の選任及び職務代理者の選任について
3. 平成26年度事業報告及び収支決算報告について
4. 平成26年度監査結果報告について
5. 任期満了に伴う評議員の一斉改選について
6. 各種規程の一部改正について
- ・第2回 平成27年8月28日（金）午後2時～3時 市総合会館7階第1研修室
議 案 1 理事及び評議員の一部変更について
2. 四日市市社会福祉大会における社会福祉功労者の表彰について
- ・第3回 平成27年11月20日（金）午後2時～3時 市総合会館8階第3・4会議室
議 案 1. 各種規程等の一部改正及び新設について
- ・第4回 平成28年3月24日（木）午後2時～4時分 市総合会館7階第1研修室
議 案 1. 理事の一部変更について
2. 平成27年度収支補正予算について
3. 平成28年度事業計画及び収支予算について
4. 各種規程等の一部改正について
5. 第5次四日市市地域福祉活動計画について

評議員会の開催

- ・第1回 平成27年5月27日（水）午後2時～3時30分 市総合会館8階第3・4会議室
議 案 1. 理事の一部変更について
2. 平成26年度事業報告及び収支決算について
3. 平成26年度監査結果報告について
- ・第2回 平成28年3月28日（月）午後2時～4時 市総合会館7階第1研修室
議 案 1. 理事の一部変更について
2. 平成27年度収支補正予算について
3. 平成28年度事業計画及び収支予算について
4. 第5次四日市市地域福祉活動計画について

監査の実施

平成27年5月18日（月）午後2時～4時 市総合会館4階会議室
平成26年度事業報告及び一般会計、特別会計の監査

社会福祉協議会役員研修会の実施

平成27年11月20日（金）午後3時～4時 市総合会館8階第3・4会議室
参 加 者：社会福祉協議会理事9名
研修内容：社会福祉の現状と地域福祉活動計画の重要性等
講 師：金城学院大学教授 柴田 謙治 氏

平成27年度事業報告 総括

少子高齢化、人口減少、女性の社会進出、核家族化などが進行し、地域社会や職場、家庭の機能が大きく様変わりしていく中で、人々のライフスタイルが多様化している。

これらのことから、公的な制度では、支えきれない生活困窮や孤立、虐待などの生活課題が顕著化し、人々の生活不安は一段と高まっている。

そのような状況下、四日市市社会福祉協議会は、平成27年度に職員間のつながり、地域とのつながりを重視し、四日市市の地域福祉計画と整合性を持つ、「第5次四日市市地域福祉活動計画」を策定した。この計画に基づき、全所属で力を合わせて、地域福祉を推進していく。

特徴的な取り組み

○法人運営関連事業

- ・第5次四日市市地域福祉活動計画の策定

「安心して暮らしつづけることができる福祉のまちづくり ～市社協の強みを生かし、『つなげる』から『つながる』へ～」を基本理念とした、第5次四日市市地域福祉活動計画（平成28年度から平成31年度）を策定した。「つながり」をキーワードとし、本会各部署の横断的な連携を強化し、地域とともに地域福祉活動を推進していく。

- ・新会計への移行

「新たな社会福祉法人会計基準」に基づき、これまでの4会計を一本化し、事業経営の安定性、透明性の確保に努めるとともに、法人全体の経営状況を把握できるようにした。

○地域福祉関連事業

- ・ふれあいのまちづくり事業

小地域福祉活動の推進を図るため、地区社会福祉協議会連絡協議会の全体事業を実施した。また、生活支援コーディネーターを3名配置し、地域包括ケアの実現にむけて拠点事業及び地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化に取り組んだ。地域拠点では、地域の交流拠点としてカフェサロンの開催や、NPOと住民参加型福祉サービスの協働実施に向け、地域関係機関に参画していただき準備委員会を発足した。

- ・地域後見サポート事業

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談だけではなく、先駆的事業の開発として制度の狭間で支援の行き届かないケース等に対する相談窓口を設置し、さまざまな関係機関と協働で新たなセーフティーネットづくり「包括的な総合相談窓口機能の構築」に向けて準備を行った。

- ・ボランティアセンター事業

ボランティアセンターのコーディネートの実施を図るために、コーディネートに関わる関係機関との情報交換・情報共有を実施した。

ボランティア活動や福祉を身近に感じてもらえるよう、学校との協働、連携を模索し、さまざまな事業を通じた働きかけを強化した。

企業との連携をより深めていくために、ホームページ等を活用した情報提供のしくみづくりに着手した。

- ・日常生活自立支援事業

三重県社会福祉協議会の委託を受けて三泗地域（本市、朝日町、川越町）の基幹的社協として、日常生活自立支援事業を実施した。福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。

専門員7人体制での年度末利用者数は363件で、前年度比50件増となっている。新規は3期連続100件を超え115件、相談件数は7,928件と、本事業の住民ニーズの高さがうかがえた。

○高齢者福祉関連事業

高齢福祉支援室内の訪問介護事業所・居宅介護支援事業所・介護保険認定調査室・楠在宅介護サービスセンターゆりかもめ・中地域包括支援センターの連携強化に努め、地域包括ケアシステム構築のために、医療・介護ネットワーク会議の開催、地域ケア会議の開催及び協力、中地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1名配置、くす在宅介護支援センターに医療職の相談員1名配置（増員）、介護保険認定調査の適正実施、各種介護保険サービスの充実による介護事業の強化に取り組んだ。

○障害者福祉関連事業

障害者福祉関連4施設（障害者福祉センター・共栄作業所・たんぽぽ・あさけワークス）は、26年度から30年度までの5年間で指定管理者として、引き続き管理・運営し、サービス向上と経費削減に努め、事業に取り組んだ。

障害者自立支援センターかがやきは、計画相談支援の完全実施に向けて特定相談支援事業へ重点的に取り組んだ。

平成27年度事業報告の詳細は、以下のとおり。

1. 第5次四日市市地域福祉活動計画の策定

■計画の位置付け

第5次四日市市地域福祉活動計画は、行政計画である「第3次四日市市地域福祉計画」（平成26年度～平成30年度）の基本目標「2. 地域活動を支援する」の行動計画に位置づけられており、地域住民、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会、ボランティア、NPO、当事者団体その他関係団体とともに地域福祉を推進していく。

■計画の目標

基本目標として、これまで取り組んできた事業の現状と課題から、第4次四日市市地域福祉活動計画から進めてきた4つの基本目標を継承し、新たに「つながる」視点を取り入れた目標にした。

基本目標	概 要
①情報がつながる「しくみ」をつくる	解決しなければならない課題や活用できる資源を見つけ、身近で役立つ情報をみんなにひろめることなど、様々な情報が「つながる」しくみづくりに取り組む。
②活動につながる「主役（福市民）」をつくる	現在、福祉活動に参加していない人に、福祉意識の気づきになる機会や福祉活動に「つながる」ためのきっかけをつくり、身につけた福祉についてしっかりと考えることができる市民を養成していく。 また、既に福祉活動に参加している人には、専門的・広範的な活動に「つながる」ための機会をつくる。
③多様な主体がつながる「新しい公共」をつくる	生活困窮者の支援、地域での孤立、身元保証など、制度の狭間などで既存のサービスでは対応が困難な課題について、行政や専門機関と連携して新たな施策や福祉活動をみんなで調査・検討する場をつくり、多様化する福祉ニーズに合わせた新しい公共をつくることに取り組む。 また、これらの福祉活動を支えることができる人財を育成する。
④地域でつながる「わ」をつくる	地域の身近な人と人、福祉活動に参加している個人や団体など、これまで以上に交流や情報交換ができる機会をつくる。 また、これまで福祉活動になかなか参加できなかった人、企業や学生などが協働できるように集まる機会をつくる。 そして、個人、団体、企業等が、それぞれの地域で「つながる」ように取り組む。

■具体的な取り組み

①四社協バージョンアッププロジェクト

- ・広報や出前講座の拡充
- ・福祉の担い手育成と拡充
- ・包括的な総合相談窓口の創設
- ・生活困窮者への支援方策の検討
- ・障害のある人の自立支援の拡充
- ・災害ボランティアセンター機能の拡充

②地域とともに取り組むこと

- ・地域福祉関係機関との連携（民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会との連携）
- ・ボランティア活動・市民活動との連携（福祉人財の発掘・育成・支援）
- ・小地域福祉活動との連携（ふれあいいきいきサロン等との連携）

2. 市民啓発事業

市社協の事業の紹介や、市民にとって必要な福祉情報等をわかりやすく提供するため、広報紙を発行するとともに、社会福祉大会を開催し、市民の福祉意識の向上に努めた。また、ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めた。

（１）社協だより「かけはし」の発行

市社協事業の紹介及び報告、福祉情報の提供など市社協活動や福祉理解の促進、福祉啓発を目的として発行した。発行回数は年５回、各号約１３６，５００部を市内全戸に配布した。同時に、希望される視覚障害者に、点訳かけはし（１回１８部）、録音かけはし（１回２５本）を発行した。

発行日	内 容
6月20日 第131号	〔表紙：おもちゃ図書館まつりの案内、はじめてのボランティア説明会〕 ・平成27年度予算、及び平成26年度決算の報告 ・市社協会費のお礼とお願い ・障害者福祉センターだよりWITH （視覚に障害のある人の自立と社会参加を支援しています） ・ボランティアセンターからのお知らせ（サマーチャレンジ2015参加者募集） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（パソコン講座参加者募集） ・寄付のお礼
8月20日 第132号	〔表紙：27年度四日市市社会福祉大会の案内〕 ・平成28年度採用正規職員募集 ・赤い羽根共同募金 平成26年度のお礼と報告 ・「よっかいち福祉の店」からのお知らせ ・中央老人福祉センターのご案内（四日市市老人クラブ連合会からのお知らせ） ・市社協 北地域拠点「サロンよってこ家」オープン！ ・ボランティアセンターからのお知らせ （ボランティアのつどい、はじめてのボランティア説明会） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ （パソコン講座参加者募集、・母子寡婦福祉会作品展のお知らせ） ・障害者福祉センターだよりWITH （障害の理解をすすめる出前講座を実施しています！） ・寄付のお礼
10月20日 第133号	〔表紙：平成27年度 赤い羽根共同募金のお祝い〕 ・四日市市社会福祉大会の案内

	・共栄作業所 工場見学報告 ・たんぼぼ たんぼぼ夏祭り報告 ・地域福祉課 地域診断の取り組みについて ・ボランティアセンターからのお知らせ（はじめてのボランティア説明会） ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（手芸サークルの紹介） ・障害者福祉センターだよりWITH（第34回四日市市障害者大会の案内） ・市社協法人認可50周年記念シンボルマークの募集等 ・寄付のお礼
12月20日 第134号	〔表紙：平成27年度 四日市市社会福祉大会の報告〕 ・赤い羽根共同募金、街頭募金の報告とお願い ・たんぼぼ 四郷高校文化祭参加の報告 ・ボランティアキャンペーンお知らせ（アルミ缶回収の協力お願い）、はじめてのボランティア説明会 ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（ちぎり絵サークルの紹介） ・障害者福祉センターだよりWITH（要約筆記奉仕員派遣コーディネートを行っています） ・寄付のお礼
2月20日 第135号	〔表紙：赤い羽根共同募金運動のお礼、歳末たすけあい見舞金贈呈式〕 ・四日市市おもちゃ図書館 25周年報告、案内 ・「よっかいち福祉の店」 即売会のお礼 ・母子・父子福祉センターからのお知らせ（編み物サークルの紹介） ・ボランティアセンターからのお知らせ（四日市ボランティアキャンペーン、はじめてのボランティア説明会） ・障害者福祉センターだよりWITH（平成28年度 障害者デイサービスの利用者を募集します） ・寄付のお礼

（２）四日市市社会福祉大会の開催

永年にわたり、社会福祉活動に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、講演をととして広く市民に福祉について考える場を提供し、福祉意識の高揚を図った。

- ・日 時 平成27年11月 6日（金）午後1時30分～4時
- ・場 所 四日市市文化会館 第1ホール
- ・参加者 約900名
- ・福祉功労者表彰 37名6団体
 - ・四日市市長表彰 1団体
 - ・四日市市長特別表彰 1名・1団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長表彰 19名・2団体
 - ・四日市市社会福祉協議会会長感謝 17名
 - ・三重県共同募金会四日市市共同募金委員会会長表彰2団体

- ・講 演 ～明るく、楽しく、そしてあきらめない生き方～
- ・講 師 辻井 いつ子 氏（ピアニスト辻井伸行氏の母）

（３）ホームページの更新

市社協の組織や事業とともに、職員募集情報や各種講座案内等のページの作成及び更新を年間で234回行い、タイムリーな情報を提供できるよう努めた。

【市民啓発事業 まとめ】

社協だより「かけはし」は、フルカラーで作成し、市民にとってより読みやすいものとした。記事を見て、社会福祉大会や、ボランティアの説明会に参加したなど、市民の福祉啓発や市社協のPRに成果がみられた。また、平成28年に法人化50周年を迎えるにあたり、50周年記念事業に使用するシンボルマークを市民より募集した。

「四日市市社会福祉大会」では、『多くの方々が福祉関係にたずさわっておられ、長年、頑張ってお

られる事に感動しました』『自分も少しでも社会の役に立ちたいと改めて感じました』、講演では、『子供の長所を自然の形で伸ばした育児経験はすばらしく感じた』『あっという間の1時間半でした、大変あたたかい講演でした』などの声をいただいた。

近年、福祉を取り巻くさまざまな環境の変化に伴い、家族構成や生活様式など市民の暮らしも大きく変化してきている。このことから、福祉課題も市民により身近なものとなっており、社会福祉に対する関心も高まってきている。今後も引き続き、市民にとって必要な福祉の情報をわかりやすく提供し、福祉啓発に努めていく。

3. 福祉ボランティアのまちづくり事業

ボランティアセンターでは、市民相互の助け合いによる福祉のまちづくりを目的として、市民がボランティア活動に参加するために必要な啓発活動、学習や活動の場、各種ボランティアに関する最新情報を提供するとともに、ボランティアグループや個人ボランティアへの活動支援などに取り組んだ。

(1) 相談援助業務

① ボランティアコーディネート業務

ボランティアを必要としている人とボランティア活動を希望している人や活動中の人を実際の活動につなげることを目的に行った。

コーディネート実績		
依頼件数		1 2 4 件
派遣件数		1 0 5 件
派遣人数		3 2 5 名
派遣団体数		2 3 団体
派遣中止	主催者理由	1 4 件
	希望者なし	5 件

(2) 情報収集と提供

① ボランティアニュース「ボランティアのたまご」の発行（月1回）

ボランティアに関する事業や情報を掲載し、毎月20日に発行した（発行部数約1,800部）。

ボランティア団体や個人ボランティア、行政、一部企業等の各関係機関への送付や地域の掲示板への貼付などにより、ボランティア活動の周知に努めた。

② ボランティア団体会員募集一覧冊子の作成

ボランティアセンターに登録している団体のうち、会員募集をしている団体を活動分野別に冊子としてまとめ、ボランティア希望者へ情報提供を行った。

③ ホームページの更新

ホームページ上に、ボランティアセンター事業やボランティア募集などボランティアに関する情報を掲載し、ボランティア活動の周知に努めた。

④ フェイスブックの更新

若い世代を中心に普及しているフェイスブックの拡散性、即時性、滞留性の機能を活かしてボランティアセンターが開催する各種イベント事業の様子をはじめ、企画の段階から関わってもらったボランティアのみなさんの様子、各ボランティア団体の活動の様子などを発信し、ボランティア活動やボランティアセンターをより身近なものに感じてもらえるように努めた。

(3) ボランティアのきっかけづくり事業

① はじめてのボランティア説明会の開催

これからボランティア活動を始めたいという人を対象に、ボランティア活動に関する基礎知識の習得と実際の活動へのつながりを目的に開催した。開催日時は、より多くの人に参加してもらえるように、毎月3回、平日午前、平日夜間、休日午後とした。

月	開催日	参加者数	説明会内容
4月	16日 25日	6名	<全体説明> ①社協&ボランティアセンターの概要説明 ②ボランティアについての学習 ③市内ボランティア活動状況 ④ボランティア活動保険の説明 ⑤ボランティア募集状況 他 <個人対応> ①1対1で活動希望の聞き取り ②活動先との調整 ③見学への同行 ④活動中のフォロー
5月	7日 9日 14日 23日	7名	
6月	4日 11日 20日	11名	
7月	2日 16日 25日	15名	
8月	3日 13日	5名	
9月	3日 10日 17日 25日	7名	
10月	8日 31日	6名	
11月	5日 12日 28日	9名	
12月	3日 19日	3名	
1月	7日 14日 23日	5名	
2月	4日 18日 27日	11名	
3月	3日 10日 19日	11名	
年間	34日	96名	

②サマーチャレンジ2015の開催

高校生・大学生・専門学校生を対象に、夏休み期間を利用してボランティア活動をしてもらうことで、ボランティア活動の魅力を伝えとともにボランティア活動者の育成を図ることを目的に開催した。

開催日	活動内容	受け入れ施設・団体	参加者数 (延数)
7月11日(土) 8月4日(火)	事前説明会 ・自己紹介、ボランティアセンターから(活動の心得、保険、登録など) ・グループワーク(活動の期待等) ・活動先担当者からの説明	・障害者福祉センター ・四日市ユートピアハウス ・ボッチャサークル コロコロ四日市 ・サウンドテーブル テニスサークル	25名
8月5日(水) ～7日(金)	高齢者施設での活動(話し相手・レクリエーション・夏祭りのお手伝い等)	四日市ユートピアハウス	12名
7月29日(水) 31日(金) 8月5日(水) 12日(水) 14日(金) 19日(水) 26日(水) 28日(金)	児童デイサービス(障害児との交流) ・創作活動、調理、野外活動など	障害者福祉センター	23名
8月9日(日) 29日(土)	障害者スポーツ「ボッチャ」の体験	ボッチャサークル コロコロ四日市	9名
8月20日(木) 22日(土)	障害者スポーツ「サウンドテーブル テニス」の体験	サウンドテーブルテニス サークル	14名
8月30日(日)	参加者交流会 ・意見交換、活動先からのメッセージ 紹介、ボランティア活動紹介等		14名

③福祉教育推進事業・福祉教育への支援

(ア) 地域福祉教育推進(講師派遣)事業[16校 27講座]

子どもたちが地域の中で生活全般にかかわる「福祉」について学び、自分にできることを考えるきっかけづくりとなる福祉教育を推進するため、日常的に子どもたちと関わり、福祉教育を実

践されている学校と協議をしながら、子どもたちにあった学習プログラムを作成した。
講師の紹介や調整、依頼やその経費については市社協が担う事業として実施した。

学校名	派遣した講師
県小学校	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
	聴覚障害者
橋北小学校	視覚障害者
常磐小学校	聴覚障害者
羽津北小学校	視覚障害者
日永小学校	視覚障害者
八郷小学校	肢体障害者（車椅子利用者）
桜中学校	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
	肢体障害者（ボッチャサークル）
	社会福祉協議会職員（「福祉・福祉の仕事の魅力」）
中部中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
	気象予報士（卒業生「しあわせ・夢」）
	青年海外協力隊経験者（「しあわせ・夢」）
	肢体障害者（車椅子利用者）
	社会福祉協議会職員（「学習のふりかえり」）
富洲原中学校	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
西笹川中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
保々中学校	障害者の家族
三重平中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」「ボッチャ体験」）
三滝中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
港中学校	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
南中学校	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）
メリノール女子学院高	視覚障害者（サウンドテーブルテニスサークル）
	社会福祉協議会職員（「福祉・障害」）

（イ）福祉教育への支援〔3校〕

地域福祉教育推進事業実施校以外の小学校・中学校・高等学校で、福祉教育に取り組んでいる学校の相談に応じ、取り組み内容についての情報提供や福祉用具の貸出等を行った。

（４）人材育成事業

①ボランティアリーダー研修会の開催

ボランティア活動が多様化している状況下、ボランティア団体のリーダーを対象に、リーダーの資質向上及び各団体間のつながりを図ることを目的に開催した。

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
1月19日(火)	四日市市文化会館第3ホール	『これからのボランティアを発想しよう！ ～地域包括ケアをキーワードにしながら～』 (講師) 皇學館大学 教育開発センター 准教授 板井 正斉 氏 (内容)「タイムトラベルボード」を利用した グループワーク (その他)四日市ボランティアキャンペーンの 開催案内について	24 団体 52 名

(5) 活動支援（助成）事業

①外出援助サービス保険料助成事業の実施

外出困難な要援護者のニーズ対応と外出機会の拡大を目的として、医療機関などへの外出援助サービスを行っているボランティア団体等に対して、送迎サービス補償・ボランティア活動保険の各保険料の半額助成を行った。

- 〔助成団体〕 1. 桜ボランティア協会〔桜地区〕
2. ミニデイサービス「ともだちの和」〔桜地区〕
3. 山上いきいきサロン〔桜地区〕
4. おたまじゃくしの会〔八郷地区〕

②ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険の掛金の一部補助(一律一人100円)を行い、加入促進を図った。

ボランティア活動保険加入者4,241名(平成28年3月31日現在)

③全国ボランティアフェスティバルふくしまの参加支援

ボランティア活動への関心が高まっている中、全国規模のボランティア大会への参加を通して団体活動の活性化を図ることを目的として、ボランティア団体・個人ボランティア・地区社会福祉協議会を対象に参加を募り、フェスティバルに参加する費用の一部(交通費・参加登録費)を助成した。

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
11月21日(土) ～22日(日)	(福島県) ビッグパレットふくしま 他	ボランティア団体 個人ボランティア	・基調講演 ・シンポジウム ・分科会	5 名

(6) 協働事業

①四日市ボランティアキャンペーンの開催

ボランティア活動の啓発及びボランティア人口「ボラ友」の拡大を目的に、3月4日「㊦んなで㊧よにボランティア」(キャッチフレーズ)を四日市市のボランティアの日とし、また3月4日～31日までを四日市ボランティアキャンペーン期間として、下記イベントを開催した。

開催に伴い、企業21社の協賛や協力を得た。

●街頭PR活動 in ふれあいモール

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月5日(土)	四日市駅前東口広場 ふれあいモール	街頭PR活動 ・ティッシュ、チラシ配り ・ゆるキャラと一緒に写真を撮ろう！	20 名

●はじめてのボランティア説明会

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月10日(木) 19日(土)	四日市市総合会館	・ボランティアに関する基礎知識 ・ボランティアの心がまえ ・ボランティア募集や活動紹介など	8名

●ボランティア啓発イベント（運営委員会形式で開催）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
3月12日(土) (展示：12日～14日)	四日市 市民公園	・アルミ缶アート テーマ『みんなの想い 気球にのせて』 アルミ缶回収(16,000缶以上) 寄贈先（障害者施設） ① 清和ワークキャンパス ② みのり工房 ③ あさけワークス ④ たんぽぽ ・参加者へのボラ友あめの配布 ・体験コーナー ① ふわふわこにゅうどう ② ボランティアクイズ ③ オリジナル缶バッチづくり ④ 思いやりリレー ⑤ 消防団・地震体験車 ・ステージ企画 ① 住友電装和太鼓チーム ② 中部中学校吹奏楽部	107名 (ボランティア)

●ボランティア啓発イベント開催に伴う企画運営委員会&事前説明会の開催
〔運営委員会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
11月26日(木) 12月24日(木) 1月20日(水) 2月9日(火) 3月3日(木)	・ボランティア団体 (6団体) ・学校関係(2校) ・個人ボランティア	①四日市ボランティアキャンペーン 企画内容に関すること ②前日及び当日の運営協力などに関する こと ③事前リハーサルの開催 ④展示後の撤収	65名

〔当日スタッフへの事前説明会〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
2月25日(木) 2月26日(金)	・ボランティア団体 ・個人ボランティア ・学校	・PRイベント(3/5) ・ボランティア啓発イベント(3/12) ・片づけ、寄贈(3/14) における内容説明、役割分担など	37名

●ボランティア体験プログラム

開催	名称	内 容	参加者数
3月5日(土) 3月19日(土)	障害者スポーツ ボッチャを楽しもう	パラリンピック種目。一緒に競技を楽しみながら知り、応援していく。 〔協力団体：ボッチャサークルきらら・コロコロ四日市〕	22名
3月6日(日)	ウミガメを四日市へ 海岸清掃と勉強会	吉崎海岸の清掃と自然や環境の学習。 〔協力団体：四日市ウミガメ保存会〕	8名

3月28日(月) 3月30日(水)	障害者スポーツ サウンドテーブルテ ニスを楽しもう	全国障害者スポーツ大会種目。一緒に競 技を楽しみながら知り、応援していく。 〔協力団体：エンジョイ SS ピンポンク ラブ〕	32名
3月18日(金) 3月25日(金)	カフェサロンを盛り 上げよう	カフェサロン運営のお手伝いをするこ とで、地域の高齢者や親子の憩いの場に 参加。〔よってこ家〕	3名
3月26日(土)	街頭募金 ボランティア	街頭募金を通して、県内のボランティア 活動を応援する。 〔協力団体：三重ボランティア基金〕	6名

②ボランティアのつどいの開催

ボランティアセンター登録団体や個人ボランティアが一堂に会することによって、情報交換や交流を行い、団体同士または、団体や個人とボランティアセンターのつながりを強化することを目的に開催した。(実行委員会形式で開催)

開催日	開催場所	参加者	開催内容	参加者数
9月12日 (土)	四日市市 文化会館 第3ホール	ボランティア団体 個人ボランティア 一般参加	第1部「みんなで語ろう会」 ワールドカフェ方式で ボランティアについて語り合う。 第2部「コラボしよう会」 関心のあるテーマについて コラボのアイデアを出し合う。 クロージング アイデアの表彰等。	98名

〔実行委員会の開催〕

開催日	参加者	開催内容	参加者数
6月18日(木) 7月8日(水) 7月30日(木) 8月21日(金) 9月9日(水) 10月9日(金)	・ボランティア団体(6団体) ・学校関係(1校) ・個人ボランティア	①企画内容に関すること ②当日の運営等に関すること	75名

③学生〔高校生・大学生〕ボランティア連携事業

現在、つながりのある学校とのさらなる顔の見える関係づくりを目的に、イベントや活動等を通して連携強化に努めた。

学 校 名	活 動 内 容
四日市大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 (よんよん祭り)でのボランティアセンターとの合同出展 <出展内容：展示&思いやりリレー> ②四日市ボランティアキャンペーンの運営委員として運営委員会への参画及び参加
四日市看護医療大学	①四日市大学・四日市看護医療大学合同文化祭 (よんよん祭り)でのボラセンとの合同出展 (出展内容：展示、思いやりリレー) ②四日市ボランティアキャンペーンの運営委員として運営委員会への参画及び参加
ユマニテク医療福祉大学校	①介護福祉学科1年生へのボランティア講座の開催 ②各種ボランティア活動への参加 ③サマーチャレンジへの参加

川越高校、海星高校、四郷高校、 暁中学校、富洲原中学校、中部 中学校、港中学校、朝明中学校、 楠小学校、大谷台小学校、日永 小学校	四日市ボランティアキャンペーンへの参加・協力
---	------------------------

④コーディネートを考える会議の開催

コーディネート業務の向上を図ることや新たなしくみづくりを構築していくことを目的とし、関係機関（ボランティアの送り出し機関、ボランティアの受け入れ機関、中間支援組織、学識経験者など）が集まり、よりよいコーディネートに向けて情報の共有や意見交換を行った。

開催日	参加機関	開催内容	参加者数
6月4日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③作業所 来夢 ④よっかいち諧朋苑 ⑤四日市ふるさとファーム ⑥学識経験者	■今年度の取り組み提案 ■ボランティアの企画づくりの検証	10名
9月3日(木)	①ユマニテク医療福祉大学校 ②障害者相談支援センター ソシオ ③四日市ふるさとファーム ④三重県ボランティアセンター ⑤学識経験者	■企画実施後のふりかえり ■個別ニーズ対応についての意見交換	10名
12月17日(木)	①サンディスク(株) ②作業所 来夢 ③よっかいち諧朋苑 ④四日市ふるさとファーム ⑤障害者相談支援センター ソシオ ⑥三重県ボランティアセンター ⑦学識経験者	■個別ニーズへ対応のしくみについての意見交換 (富田・下野での取り組み)	12名
3月17日(木)	①サンディスク(株) ②ユマニテク医療福祉大学校 ③四日市ふるさとファーム ④障害者相談支援センター ソシオ ⑤三重県ボランティアセンター ⑥学識経験者	■個別ニーズへ対応のしくみについての意見交換 (地域拠点富田・下野での取り組み)	11名

(7) 防災・災害支援事業

①台風18号災害の被災地支援に係る職員派遣

台風18号等の影響によって茨城県・栃木県を中心に大規模な被害が発生した。今後想定されている大規模災害への備えとして、茨城県の被災地における活動に参加する職員及び行政・ボランティアを派遣した。

- ・派遣日…9月28日(月)・29日(火)
- ・派遣地…栃木県鹿沼市
- ・参加者…市社協職員6名、市・消防職員2名、市・危機管理室1名、ボランティア10名

【福祉ボランティアのまちづくり事業 まとめ】

平成28年3月31日現在のボランティアセンター団体登録数は、213団体8,793名、また個人登録数は、228名であった。

登録について、団体数は昨年度と変わらず、活動分野は福祉分野を含め、多岐にわたっている。

個人ボランティア登録者数も、昨年とほぼ同数。はじめてのボランティア説明会参加者や「サマーチャレンジ2015」参加者については多くが新規登録するも、種々の状況で登録を継続しない

ボランティアも同程度ある。

ボランティアコーディネートについては、例年依頼のある活動など、受け入れ側の態勢もスムーズ、活動者も継続して参加し、双方にプラスの大きいものもあるが、受け入れ側や活動者の課題など調整しきれなかった活動もあり、ボランティア依頼票の再検討をしながら調整してきているが、今後も引き続き課題の一つとして取り組み、コーディネート力をアップしていきたい。

事業としては、期間（3月4日～31日）を設けた四日市ボランティアキャンペーンを実施し、ボランティアの啓発とボランティア人口の拡大を図っている。期間を設定し、アルミ缶回収をするイベントということが、関係者のなかでは定着してきており、広報前から声をかけていただける状況もある。また、昨年度から期間中に参加できるボランティア体験プログラムを組み入れたが、今年度は関係団体にだけでなく、学校の協力を得ることができ、参加人数も大幅に増えた。ボランティア啓発イベントにおいても、新たに企業や学校のステージ企画、防災関係団体の参加もいただきなど、キャンペーン期間を通してたくさんの協力を得られた。今後も、より関係を広げられる企画を、運営委員の皆さんとともに検討していきたい。

また、高校生、大学生、専門学校生を対象にした、夏休み期間中のボランティア体験プログラム（サマーチャレンジ）を昨年に続いて実施した。ボランティアの魅力を伝えるとともに、ボランティア活動者の育成を図ることを目的にしているが、ボランティアコーディネートを考える会議でも多方面からご意見をいただくなど、今後も引き続き、多くの学生の参加が得られるよう企画の充実をはかりたい。

事業実施の他、ボランティアセンターの重要な業務のひとつであるコーディネートのより充実を図るために、コーディネートに関わる関係機関が集まってコーディネートを考える会議を開催し、ボランティアに関する課題の抽出や情報交換・情報共有を行い、これからの方向や進め方についてアドバイスをいただいた。市域だけでなく地域でのボランティア人口の拡大についても、生活支援コーディネーターなど他の事業担当者とも情報共有、役割分担しながら、次年度以降取り組んでいきたい。あわせて、企業や学校との連携を、ホームページの充実や顔の見える関係づくりをさまざまな事業や機会を通して図っていきたい。

4. ふれあいのまちづくり事業

地区社会福祉協議会（地区社協）への具体的な支援として、3ブロック（北部、南部、中部）別の会長会議を開催し、課題を抽出、地区社協の方向性の検討をすすめた。小地域福祉活動を推進していくために、地域福祉活動メニュー事業での地域住民の意識高揚、ボランティアの発掘、福祉協力員との協働などをとおして、住民自らの福祉活動が展開されるよう支援した。

さらに、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、地域の福祉課題の解決に向けた活動を支援した。

総合相談事業では、気軽な市民の福祉相談の窓口として、さらには処遇困難事例等への相談体制も充実していくなど包括的な福祉総合相談の担い手として関係機関との連携を密に取りながら問題解決や福祉ニーズの把握に努めた。

（1）地区社会福祉協議会支援

地域において、地域福祉活動を推進していく基盤となる地区社協との連携強化に努めた。

①地区社協への運営費等の助成

- （ア）地区社協組織活動補助金…1地区 40,000 円。支部（校区）社協を組織化している地区については1支部（校区）社協につき 8,000 円を加算。
- （イ）地区社協事業費補助金…地区の世帯数による
- （ウ）地域福祉活動メニュー事業補助金…実績方式
- （エ）共同募金交付金…目標額の21%と超過額の90%

②地区社協指導者研修会等の実施

- （ア）地区社協連絡協議会 全体会議

平成27年6月22日（月） 市総合会館 8階視聴覚室

内容 1. 会長・副会長の選任について

2. 市社協評議員の選出について
3. 指導者研修会の開催について
4. 市社協 補助金について
5. 情報提供・出前講座の案内
 - 「四社協福祉ゼミナール」について
 - 「市社協 出前講座」について
 - 「ボランティア活動保険」について

(イ) 地区社協リーダー研修会／補助金説明会

平成28年2月29日(月) 市総合会館 8階視聴覚室

- 内容 1. 講演 「これからの介護保険制度と地域に求められること」
講師 四日市市介護高齢福祉課 瀬古 一成 氏
2. 平成28年度補助金について
○四日市市介護・高齢福祉課より
○四日市市社会福祉協議会より
・地区社協補助金について
3. グラウンドゴルフ大会の成果について

(ウ) 地区社協ブロック別 会長会議

平成27年8月17日(月)：北部、8月19日(水)：南部、8月21日(金)：中部

- 内容 1. 四日市市社協事業報告について
2. 全体事業(グラウンドゴルフ大会)について
3. 研修会について
4. 地域ケア会議への参画について
5. 情報交換

平成28年1月18日(月)：北部 1月20日(水)：中部、南部

- 内容 1. 全体事業(グラウンドゴルフ大会)について
2. 平成28年度補助金の変更について
3. リーダー研修会について
4. 意見交換

(エ) 全体事業(グラウンドゴルフ大会)の開催

平成28年2月18日(水) ヘルスプラザ

参加人員…94名

(オ) 小地域福祉活動ホームページの開設

市社協ホームページに「小地域活動応援サイト」の運営

③福祉協力員等活動費補助事業の実施

地域福祉活動の推進者である福祉協力員等の活動のより一層の促進を図るため、運営費 20,000 円、活動費として福祉協力員等 1 名につき年間 3,000 円(上限 80,000 円)を補助し、活動を支援した。

・実施地区(14地区)

共同、中央、港、橋北、海蔵、羽津、富田、下野、三重、桜、川島、神前、内部、大矢知

④地域福祉活動メニュー事業の実施

平成8年度から地区社協に対する具体的な支援として「地域福祉活動メニュー事業」を開始した。平成10年度からは、対象を小学校区に組織化されている地区社協に拡大し、平成12年度からは、高齢者などの介護予防や地域での交流・出会い、憩いの場としての「ふれあいきいきサロン」活動を進めていくための運営費や、新規に活動を立ち上げる資金を支援するメニューを加えた。また各地区社協の福祉活動状況や地域特性を踏まえて、それぞれの地域課題を明らかにし、地区社協の取り組みに際し、事業の企画段階から市社協職員が参画して、支援を行ってきた。

(メニュー内容)

- ・学習・啓発事業
- ・交流事業
- ・ふれあいいきいきサロン事業

●学習・啓発事業数 12地区(支部を含む) 15メニュー

地 区	事業名	内 容	人数
共 同	視察研修	役員研修「滋賀県平和記念公園」	25
	福祉勉強会	演題「児童虐待について」講師を招いての勉強会	25
浜 田	福祉勉強会	車イスバスケットボールチーム「チャリオッツ」を招いての勉強会。港中学校と共催。	340
	福祉講演会	演題「好きなことを仕事にする」講師を招いての勉強会	340
橋 北	福祉講演会	演題「いつまでも元気で素敵なあなたでいられるために」講師をまねての勉強会	51
富洲原	福祉講演会	演題「認知症と暮らそうこの町で」講師を招いての勉強会 在宅介護支援センターと共催	47
八 郷	高齢者大学	演題「認知症について」講師を招いての勉強会	72
八郷西	陶芸教室	夏休み子ども陶芸教室	50
桜	史跡めぐり	桜地区内の史跡をめぐり郷土歴史学習	73
	バードウォッチング	身近な自然を観察して環境学習	53
常 磐	福祉講演会	演題「ふくしの今 昔」講師を招いての勉強会	10
高花平	健康講演会	演題「簡単リハビリ お家でできるトレーニング」講師を招いての勉強会	22
河原田	てん刻教室	講師を招いて、てん刻作成の教室	27
日 永	環境教室	講師を招いて環境についての講演。自然素材をつかった文房具の作成。	27
塩 浜	健康講座	演題「冬の感染症対策について」講師を招いての勉強会	50

●交流事業数 19地区(支部を含む) 35メニュー

地 区	事業名	内 容	人数
共 同	ぬくもりの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、体操やバイオリン演奏を楽しむ	80
	ふれあい広場	地域の関係機関が一同に会し、交流するイベント。小中学校のブラスバンドや諏訪太鼓の演奏	750
同 和	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、介護講座、リズムメイトによる歌と演奏	35
同和・中央	三世代交流もちつき大会	中央地区、同和地区の共催事業。ゲーム、もちつきなど	230
中 央	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、出前講座、リズムメイトによる歌と演奏	49
港	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、ミュージックパレットによる演奏	91
浜 田	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、鼻笛演奏会	50
	餅つき交流会	地域のだれでもが参加できる交流の場として餅つきやゲームなどをおこ	480
海 蔵	小学生と七夕交流会	海蔵小学生と高齢者の交流事業。七夕の飾りつけなどをおこなう	166
羽 津	ひとり暮らしの集い	ひとり暮らしの方を招いての交流会、諏訪太鼓演奏やリズムメイトによる歌と演奏	117
富洲原	グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	207
	ウォークラリー大会	地域住民を対象としたウォークラリー大会	200

八郷	八郷西グラウンドゴルフ大会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフ大会	70
	囲碁大会(納涼・新春)	地域住民を対象とした囲碁大会	39
	夏休み子ども工作まつり	地域の子どもの対象とした工作教室	75
県	ふれあい文化祭	地域住民全体事業。講演会、大道芸、作品展示、サークル発表等	600
	綱引き選手権大会	地域住民全体事業。綱引き後ぜんざいで交流。	250
桜	リフレッシュ健康体操	高齢者の転倒予防、介護予防や認知機能向上のためのエクササイズ	50
	さくらふれあいまつり	福祉施設との交流会。手品、歌。	120
川 島	川島町北部第一親睦会	地域住民を対象としたグラウンドゴルフと昼食会。	85
	親睦もちつき大会	ひとり暮らし高齢者との交流。	90
神 前	小さな運動会	高齢の方が楽しめるような競技を中心とした運動会	120
	盆おどり大会	地域住民全体事業。盆踊り、屋台、カラオケ等	419
四 郷	共栄作業所との交流会	福祉施設との交流会。	86
常 磐	地区在住のろう者との交流会	健常者と障がい(ろう)者との交流やバーベキューもちつき大会。	29
河原田	障害者ふれあいの集い	在宅障害者の方が伊賀忍者村へ招待して交流。	16
	アロマセラピー体験	アロマセラピー体験をととして世代間交流。	22
	梅林ウォーキング大会	ウォーキングを通じて地域住民の健康と親睦を図る。	48
日 永	ひとり暮らし高齢者の集い	ひとり暮らし高齢者を招いての交流。	504
塩 浜	イキイキふれあい GG 大会	地区内高齢者の方とグラウンドゴルフを通じて世代間交流。	114
	ナイターグラウンドゴルフ大会	地区内高齢者の方とグラウンドゴルフを通じてナイターで世代間交流。	86
	高齢者と園児の集い	地区内高齢者の方と保育園児の交流	79
	高齢者お楽しみ会	地区内高齢者の方を招いて落語、ビンゴ等で楽しむ。	58
	新春落語会	落語を通して世代間交流を図る	72
楠	ふれあい農園	農作業を通して世代間交流を図る	20

●ふれあいいきいきサロン開催実績

実施地区 33 地区 (支部を含む) 422 サロン

地区名	回数	参加者数	サロン名
共 同	486 回	5,319 人	いろは会(グラウンドゴルフ・健康体操・絵手紙) 諏訪栄いきいきサロン、ふれあいいきいきサロン、サロン時計台(編み物、ラジオ体操、太極拳)、中部スマイルきょうしつ(子育て・学習)
中 央	22 回	509 人	中央地区ふれあいサロン、新町おしゃべりサロン、ほほえみクラブ(カラオケ・茶話会)
港	54 回	951 人	歩こう会、港地区いきいきサロン、笑和ホネホネクラブ、お茶を楽しむ会
浜 田	220 回	3,380 人	笑話会、ふれあいおはなし会、愛好家、浜田地区ロコモーショントレーニングの会
同 和	56 回	992 人	あんずの会、同和地区社協カフェサロン

橋 北	12 回	525 人	にこにこサロン日曜給食サービス
海 蔵	324 回	4,211 人	折り紙サークル、高齢者パソコン教室、おどり愛好会、お達者クラブ:ストレッチ体操、カラオケ愛好会、書道サークル、茶道サークル、グランドゴルフ、茶のみ友の会、音楽療法の会、カフェサロン
羽 津	24 回	402 人	エミ(笑み)の会、ふれあいサロン「仲良し会」
富 田	798 回	15,203 人	ボランティア委員会、富田宅老所 ひだまり、いこいのサロン、すみれサロン、うたおう会、なかよしクラブ、パソコン教室、富田グラウンド愛好会、浜地区グラウンドクラブ、ラジオ体操クラブ、伊勢音頭を楽しむ会、いきいき健康舞踊体操クラブ、カラオケクラブ、パソコン何でも相談室、おやじサロン、みどりの芝生、にこにこクラブ
大矢知	602 回	6,926 人	松寺寿会、ゲートボール愛好者の集い、松寺お達者クラブ、蒔田グラウンドゴルフ、なごみクラブ、松寺ふれあい手芸クラブ、十志町ものづくりの会、蒔田なかよしサロン(絵手紙・手芸・ちぎり絵・園芸)、知りたい輪(ものづくり、講座)、御殿まりをたのしむ会、松寺若葉会、わいわいがやがやクラブ、川北キング、ほっとサロンいきいき、エンドレス
八 郷	280 回	4,537 人	蒔のとう、きらく、懐かしい歌を楽しみませんか、あじさい広場、ミュージックベルの会、、いきいき体操、ふれあいサロン、平津あゆみの会、すくすく Kid's、さるびあ会、グー・チョコ・パー、虹の会、ぼちぼち庵、平津新町おしゃべりカフェ
八郷(西)	535 回	6,533 人	ふれあい映画会、すみれ会、ふれあいランチタイム、たんぽぽの会、八郷西もみじクラブ、おたまじゃくしの会、暁風会、八郷西陶芸クラブ、トマリ会、八郷西子ども文庫、ひまわり会(コーラス・手芸・体操)、陸会、和の会、さくらの会、八郷西ふれあいサロン
下 野	171 回	1,937 人	下野・障害(児)あゆみの会「ふれあい」、山城町 詩吟クラブ、卓球本間グループ、コーラス「和み」、あさけが丘1丁目卓球愛好会、グランマ、ボランティアグループ「梨の実会」、ワイワイクラブ勉強会、太極気功
保 々	12 回	200 人	ふれあいサロン「桑の実」
三 重 (中央)	486 回	8,982 人	川向グラウンドゴルフクラブ、生桑町グラウンドゴルフクラブ、東坂部町 グラウンドゴルフ愛好会、山之平グラウンドゴルフ同好会、寺小屋(健康体操)、生桑町ふれあいサロン、輝サロン、御館グラウンドゴルフクラブ
三 重 (西)	1,640 回	42,677 人	三重西ふれあいサロン スマイル健康ストレッチ)、結、三重三丁目友好会、三重西ラジオ体操同好会、花植え研究・愛好会、エミ(笑み)の会(ラジオ体操、おしゃべり会)、三重5丁目ラジオ体操グループ、美里が丘カラオケ愛好会、第2美里ヶ丘ラジオ体操愛好会、第2美里ヶ丘親睦会、美里が丘わかば会、三重六丁目ラジオ体操同好会、なのの会、金曜クラブ料理教室、
三 重 (北)	1,101 回	15,771 人	山之一色町グラウンドゴルフ 愛好会、介護予防の会「さえずり会」(手芸・歌・体操・元気サロン1丁目)、坂部が丘五丁目フリークラブ(グランドゴルフ男女・カラオケ・ヨガ体操)、大沢台さつき会(グランドゴルフ・麻雀・太極拳・歌の会・大正琴・手芸・ラジオ体操)、元気サロン1丁目、坂部が丘五丁目フリークラブ、坂部が丘四丁目生き生きクラブ
大谷台	1,099 回	13,224 人	ふれあいいきいきサロン小杉新町(雑談、ラジオ体操)、いきいきサロン福寿会垂坂第 2、みゆきヶ丘一丁目熟年会「いきいき健康サロン」(コーラス、百人一首、読書)、いきいきサロン木曜会みゆき2、いきいきサロン大谷台、大谷台2丁目いきいきサロン長寿会(グランドゴルフ、太極拳・フィットネス・生花、囲碁、健康イキイキクラブ)、南垂坂町シニアクラブ(歩こう会、生花教室、グランドゴルフ、カフェ)、いきいきサロン大空、いきいきサロンお達者クラブ、イキイキサロン小杉長寿会(グランドゴルフ、ヨガ体操)、いきいきサロン・タルサカ、いきいきサロン・大谷台ヨガ、いきいきサロン・大谷台ファミリーバドミントン、いきいきサロン・垂坂グラウンドゴルフ愛好会
県	994 回	15,187 人	赤水町ふれあいいきいきサロン、五月会(大正琴)、いきいきサロン寿会、平尾町ふれあいいきいきサロンふるさと広場、ふれあいクラブ、栄ゲートボールクラブ、栄グランドゴルフ、栄手芸クラブ、ハイツにこにこ会、スイトピー(大正琴)、あがたゲートボールクラブ、大沢いきいきサロンお達者倶楽部、いきいき体操仲良会、平尾町(グラウンドゴルフ同好会、グラウンドゴルフ愛好会、グランドゴルフ仲良会、赤水町グランドゴルフ仲良会、北黒江グランドゴルフ愛好会、カラオケ仲良会、ヨガ仲良会

桜	346 回	5,787 人	憩いの家、駅前憩いの家(健康講座・健康体操と歌・手芸・映画鑑賞)、山上いきいきサロン(パッチワーク・映画・音楽会・健康体操)、桜花台ふれあいサロン(健康体操)、ボランティアグループわかば会、ミニデイサービスともだちの和、桜南ほかほかくらぶ、のびっこ、智積ふれあいイキイキサロン、一色いきいきサロン、ほっとカフェ“ほかほか”、桜台3丁目交流サロン、桜花台北区女子会編みあみサークル、健康増進ふれあいサロン、
川 島	259 回	4,769 人	なんぶ熟、川島福祉ふれあいいきいきサロン、川島映画劇場、ゆーらくサロン(けやき台)、けやき台カラオケ会、けやき台グランドゴルフ、西部ふれあい会、三滝台卓球クラブ木曜会、三滝台グランドゴルフ倶楽部、三滝台サロン「ふれあい」、いきいきサロン絆、けやきクラブ、川島新町悠遊サロン、さくら熟年会
神 前	768 回	13,899 人	菅原町ふれあい広場(生け花・卓球・グランドゴルフ)、寺方町一区 ふれあい広場(グランドゴルフ・カラオケ・お達者クラブ)、高角町ふれあい広場、曾井町ふれあい広場、尾平町ふれあい広場(カラオケ、卓球)、上ヶ丘ふれあい広場(お達者クラブ、話そう会)、美里ヶ丘ふれあい広場、寺方町二区ふれあい広場、暮らしの応援隊「り曾井サロン」、高角町グラウンドゴルフ会、高角グラウンドゴルフかきのした、尾平どんぐりクラブ、YYクラブ、曾井町グラウンドゴルフ会、パッチワーク、高齢者「サロン尾平」
常 磐	764 回	8,860 人	きらめきサロン(カラオケ・ストレッチ・グランドゴルフ・生け花)、久保田ふれあいの会(手芸・楽器)、西松本町ふれあいサロン(生け花・囲碁・お茶べり会・花壇づくり・グランドゴルフ)、青葉町生き生きサロン(ピンポン・グランドゴルフ・水墨画・生花・カラオケ)、いづらふれあいの会、いきいきサロンほほえみの会、まつもとイキイキクラブ、青春映画サロン西伊倉、城東シニアクラブ(菜園作業・囲碁・将棋)・お話し会)
四 郷 (旧四郷)	318 回	6,182 人	ふれあいいきいきサロンやんばいやね(手芸)、いきいきサロン悠友室山(フォークダンス・お達者クラブ・歌の会・介護センター講和・足裏健康法と食育)、いきいきサロン「きずな」(グランドゴルフ)、出雲の森(グランドゴルフ・フォークダンス)
四 郷 (笹川)	601 回	7,669 人	ごらくクラブ、なでしこ会、ふれあいサロンわかさ、笹川ポプラの会、桜の会、おしゃべりサロン、いきいきサロン微笑、いきいきサロン「かがやき」(カフェ)
四 郷 (高花平)	765 回	16,300 人	昭和サロン、絵手紙教室、いこいっこ(囲碁、謡曲、パソコン教室、おしゃべり会、お話し会、手芸)、ミニ福祉教室、生活リハビリお達者教室、小林町 ほほえみ会、小林町ラジオ体操愛好会、高花平ラジオ体操愛好会
小山田	431 回	4,917 人	西山町はればれクラブ、小山町グランドゴルフ健康会、鹿間町元気になる会、和無田町撫子会(カラオケ)、子育てひろば、山田町(高齢者教室健康体操、囲碁・将棋、100 年史を語る会)・ひだまりカフェサロン、堂ヶ山町グランドゴルフ、大正琴(小山田琴友会)
水 沢	293 回	2,988 人	葉徳の会水沢、起勢の会、青葉会、笑顔の会、そば打ち同好会、水沢クブナ・フラ、水沢茶どころ吟詠会、茶つ都水沢、茶の実の会ぶらっと、墨楽会、水沢子育てサロン、ツバキ会、水沢デニボンクラブ
日 永	1,288 回	28,076 人	元気火曜日会、猿法師ラジオ体操同好会、泊山南部たけクラブ、サロンきらら、アロハサークル、追分町つくし会、小柳町カラオケ同好会、えがお、青空サロン、ミニデイサービス ふれあい会、陽だまり、グランドゴルフ新町クラブ、絵手紙教室どんぐりの会、スマイルサロン(健康体操)、ついでたち会第4クラブ、気功を楽しむ会、ひまわりサロン、前田新町体操教室いきいきサロン、お達者クラブ、前田新町カラオケ教室いきいきサロン、花と緑いっぱい教室きららいきいきサロン、永宮町健康サロン、三角公園美化クラブ「四季花の会」、
塩 浜	781 回	12,348 人	グランドゴルフ若竹会、竹の子会A、竹の子会B、川合町なかよし会A、川合町なかよし会B、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草A(いきいき会・お達者クラブ・グランドゴルフ)、七つ屋町自治会ふれあい広場福寿草B、海山道町ふれあいサロン(熟年ふれあい広場)、海山道町ふれあいサロン(イキイキ健康体操教室)、馳出町イキイキサロン、いきいき「絆」づくり、ふれあいの集い、お達者クラブ磯津(ストレッチ)、お達者クラブ磯津北、お達者クラブ磯津西、磯津町ふれあいサロン、大里町お達者クラブ、大里町カラオケ同好会、大里町グランドゴルフ愛好会、ポエム小浜(七宝教室・グランドゴルフ)、遊遊倶楽部、ふれあいサロン「ほっと」、さゆり会

内 部	322 回	3,593 人	がらがらどんの会（森力山町）、あったか交流サロン、北小松ふれあいいきいきサロン高齢者及びチビッ子教室、歌の会小古曽教室、小古曽グランドゴルフ愛好会、ニコニコヨガ教室、ハツラツ詩吟教室、ふれあいピンポン、キッチンフレンド
河原田	50 回	970 人	すくすくサロン、いきいきサロンあすなろ会、いきいきサロン 貝塚町、いきいきサロンオレンジ大治田 ふれあいサロン
楠	102 回	2,510 人	栄町街角くらぶ、錦町・昭和町街角くらぶ、北本町街角くらぶ、南本町街角くらぶ、旭町街角くらぶ、幸町二区街角くらぶ、吉崎ふれあい街角くらぶ、街角カフェ、開栄町お達者クラブ、緑樹会、東本郷わいわい会

合 計 16,004 回 266,334 人

（２）地域福祉活動支援

①福祉コミュニティの推進

地区民生委員児童委員協議会への参画等をとおして、各地域の社会資源や福祉課題の整理を行った。

②先駆的事業の開発

成年後見制度や権利擁護事業に関わる相談のみでなく、制度の狭間で支援の行き届かないケース等に柔軟に対応できるように本事業に関する相談窓口の一本化を図り、複数の関係機関につなぐプラットフォーム的な相談窓口を設置した。また、支援機関につなげるための支援「つなぎ支援」を実施。制度の隙間に対応できるように研究をすすめている。

内 容	件 数
新規相談件数	490件

相談 機関等	四日市 市役所	包括・ 在介	ケア マネ	医療 機関	入所 施設	障害 施設	本人	家族・ 親族	知人	地域 関係者	日常生活 自立支援 センター	専門職
件数	113	84	56	42	25	39	26	50	9	16	21	9

つなぎ支援相談対応内訳

	訪 問	電 話	来 所	その他
平成26年度	971件	1,524件	134件	354件
平成27年度	1,533件	2,286件	225件	957件

・四日市市地域後見サポート事業の実施

市や福祉・司法関係機関との連携を図り、市民からの成年後見制度に関する相談や成年後見制度を必要とする人々の支援を行う事業を実施した。

内 容	件 数
支援実人数	281人
受任支援	11人

相談対応内訳

	訪問	電話	来所	その他
相談支援	334件	506件	43件	203件
後見人支援	41件	43件	58件	11件
受任支援	299件	231件	225件	957件

・生活困窮家庭支援、リユース事業

生活困窮家庭に対する生活用品の貸与等をすすめるリユース事業をモデル実施した。平成28年度から実施できるように資材の確保と倉庫の整備、申請方法などの作成に取り組んだ。

企業の社会貢献活動との協働事業として、当会独自のフードバンク事業を試行した。企業から提供いただいたカップ麺やお米等を地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮家庭に提供し、生活の再建のきっかけとした。

内 容	件 数 (述べ)
カップ麺やお米等の食材提供	91 世帯

・なるほど出前講座の開催

福祉に関する情報や制度についてわかりやすく情報発信するしくみとして、出前講座を開始した。

No	月 日	主 催	内 容	人数
1	5 月 8 日 (金)	三重中央校区社協	これからの地域福祉活動	60
2	6 月 12 日 (金)	三重地区社協	福祉協力員の役割	30
3	6 月 17 日 (水)	三重県自閉症児協会四日市ブロック	成年後見について	10
4	6 月 18 日 (木)	共同地区福祉協力員会	共同地区 地域福祉ゼミナール	10
5	6 月 18 日 (木)	四日市大学「専門演習」	地域福祉・民生委員児童委員活動	18
6	6 月 19 日 (金)	大矢知地区福祉協力員会	福祉協力員の役割、地域診断	40
7	6 月 24 日 (水)	名古屋市立大人文学部	現代社会と福祉	25
8	6 月 26 日 (金)	北小松ふれあいサロン	北小松福祉講座	30
9	6 月 27 日 (土)	桜地区社協	高齢化が進む地域福祉活動の今後のあり方	10
10	7 月 6 日 (月)	西部地域民児協	地域包括ケアシステムってなんだろう…	120
11	7 月 6 日 (月)	ユマニテク介護福祉学科	ボランティア精神と活動の基本姿勢	24
12	7 月 10 日 (金)	健康づくり課	ボランティア活動と心構え	40
13	7 月 11 日 (土)	下野地区社協	福祉について	70
14	9 月 4 日 (金)	下野・生き域ネット	みんな地域の主人公	45
15	9 月 12 日 (土)	内部地区福祉協力員・女性の会	福祉勉強会	46
16	9 月 15 日 (火)	下野・生き域ネット	みんな地域の主人公	50
17	9 月 22 日 (火)	下野・生き域ネット	みんな地域の主人公	40
18	10 月 10 日 (土)	下野地区社協	福祉講演会	70
19	11 月 6 日 (金)	下野・生き域ネット	地域でみんながいきいきと暮らすには	40
20	11 月 17 日 (火)	下野・生き域ネット	地域でみんながいきいきと暮らすには	30
21	11 月 24 日 (火)	下野・生き域ネット	地域でみんながいきいきと暮らすには	30
22	11 月 26 日 (木)	東橋北福祉協力員	福祉勉強会	15
23	11 月 29 日 (日)	北星高校	福祉について	13
24	12 月 3 日 (木)	北星高校	福祉について	8
25	12 月 17 日 (木)	共同地区社協	格差社会の現状について	30
26	1 月 22 日 (金)	健康づくり課	ボランティア活動と心構え	50

27	1月22日(金)	保々地区社協	知って得する介護保険や福祉のしくみ	15
28	1月27日(水)	中央地区福祉協力員会	中央・港地区 地域福祉ゼミナール	20
29	1月30日(土)	市危機管理室	四日市市防災大学「ボラ運営について」	60
30	2月12日(金)	羽津まちづくり協議会	まちづくり勉強会	15
31	2月16日(火)	共同地区福祉協力員会	共同地区 地域福祉ゼミナール	10
32	2月17日(水)	三重県自閉症児協会四日市ブロック	成年後見制度について	11
33	2月17日(水)	ささえ愛のまち河原田の会	ささえ愛のまち 河原田の会 学習会	30
34	3月24日(木)	三重西小学校	運営委員研修会	20

(3) 四日市市福祉教育大学

①四社協福祉ゼミナールの開催

福祉の考え方の基本視点を見つめなおす機会・福祉の最新情報や専門知識を学ぶ場として開講し、ふだんのくらしのしあわせについて考える市民(福市民)の養成を行った。また、福祉協力員の研修の機会も兼ね、興味のある講座のみの参加も可能な形で実施。全体で47名の参加があり、福市民として41名が登録した。

開催日	内 容	参加者
第1回 9月17日(木)	開講式、講座～団塊・シニア世代が主体的に学習&社会貢献することの意義～ 大阪教育大学 新崎 国広 氏	31名
第2回 10月15日(木)	コミュニティソーシャルワークとは、社会的孤立をつくらない地域福祉の推進をめざして 大阪教育大学 新崎 国広 氏	32名
第3回 11月19日(木)	地域包括ケアに向けての四郷地区での取り組み～在宅介護支援センターの活動から考える～ 四郷在宅介護支援センター 堀尾 栄 氏 地域包括ケアを実現するために 今求められている3つのテーマ 四日市市社会福祉協議会職員	36名
第4回 12月17日(木)	これからのボランティア・市民活動 日本福祉大学 村上 徹也 氏	32名
第5回 1月21日(木)	地域に居場所と役割を NPO法人CS神戸 中村 順子 氏	24名
第6回 2月4日(木)	福市民のつどい みんなで語ろう!「ワールド・カフェ」へのご招待～四社協福祉ゼミナールでの学びを実践につなげよう～ 四日市市社会福祉協議会職員	34名

②地域福祉ゼミナールの開催

福祉協力員等が組織化されている14地区全てで、地域の福祉課題の共有と解決策を見出すことを目的に座談会を開催した。

③専門ゼミナールの開催

	内 容	参加者
6月2日(火) あさけプラザ	カフェサロンボランティア養成講座「おいしいコーヒーの淹れ方講座」 講師 吉良 剛 氏 (桑名市にあるCafe de UN Daniels のオーナー、バリスタ日本チャンピオン) 講師 河邑 麻央 氏 (愛知県半田市にあるroom café のオーナー、ラテアート世界大会出場者)	47名

④夢をかなえる授業の開催

- ・サウンドテーブルテニスグループと連携して福祉教育現場への派遣、ボランティア講座などを開催した。

(4) 生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターを3名配置し、地域包括ケア実現にむけて拠点事業および地域ケア会議への出席等を通じて地域組織化事業を実施した。四日市市における生活支援コーディネーターの役割についてを明確化し、次年度からの各地区における方向性についてプランニングした。

	関係機関への スーパーバイズ・連携	各種会議への出席	調査業務	地域社会づくり推進事業
合計	946件	146件	10件	54件

(5) 地域福祉活動事業

①拠点事業

平成29年4月から、本市においても施行される地域包括ケア総合事業の実施に向けて、モデル的な事業実施や準備を行った。

- ・北地域拠点「よってこ家」平成27年6月オープン

協力員30名を中心に毎週金曜日に地域の交流拠点としてカフェサロンを開催する。

運営委員会や協力員のつどいを開催し次年度以降の地域拠点の在り方について検討をすすめた。

年回開催日数	48日
開催延べ人数	2,331人（内 未就園児 550人）
一日平均参加人数	49人

- ・下野地域拠点事業

下野活き域ネットと協定を結び、住民参加型福祉サービスの協働実施をすることを目的に、地域関係機関に参画していただき準備委員会を発足し、平成28年4月にオープンを目指して協議を行い、下野地区あさけヶ丘（あさけヶ丘二丁目）拠点の整備に取り組んだ。

- ・神前地域拠点事業

神前地区（高角町矢合）の民家と倉庫を無償で借受し、倉庫については地域後見サポート事業や日常生活自立支援事業等で支援を行っている生活困窮者に対して、電化製品等を提供するリユース事業の拠点としての活用を試行した。また、民家については耐震工事が必要なため実施事業について検討を行っている。

(6) 福祉総合相談事業

関係機関との連携を図り相談事業の充実に努めた。

- ・開設場所…市総合会館 2階 福祉総合相談室
- ・開設日 …月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分(年末年始、祝祭日を除く)
- ・相談件数…70件

相談方法	電 話	来 所
件 数	48	22

相談事項	暮らし・住まい	家 族	健康・医療	人権・法律	教育・福祉	その他
件 数	22	14	22	1	43	15

※相談事項は重複

【ふれあいのまちづくり事業 まとめ】

各地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の事業を展開、とりわけ小地域福祉活動の充実に図るためにふれあいいきいきサロンの活動を種目別に整理し、認定を実施した。事業の特徴にあわせて支援ができる体制づくりを進めてきた。実績として422グループが16,004回参加延べ人数は266,334人となり介護予防の一つの形として地域に定着しつつある。また、リーダー研修会やブロック会議に加えて、連絡協議会全体でのグラウンドゴルフ大会を開催して地区社会福祉協議会

連絡協議会の組織強化に取り組んだ。

今年度から、生活支援コーディネーターを3名配置し、地域関係機関や包括支援センター・在宅介護支援センター等と連携しながら、地域の特性に合わせた地域包括ケアシステムの構築に向けたしくみづくりを検討した。

地域拠点を整備して、高齢者も大人も子どもも誰もが気軽に集える居場所づくりやちょっとした困りごとを支援する担い手づくりなど、地域全体で支えるしくみづくりに取り組んだ。また、近年生活困窮家庭の新たな支援として四日市市社会福祉協議会独自のフードバンク（食材提供）やリユース事業（家電製品の貸与）などを実施して生活再建への支援をモデル的に実施した。

福祉人材の養成の機会としては、四社協福祉ゼミナールや地域ゼミナール、専門ゼミナールの3つのカテゴリーで福祉人材の養成および研修の機会を作り福祉人材の養成を図っている。

包括的な福祉総合相談窓口として、制度の隙間や支援者がいない方の支援体制として「つなぎ支援」を実施。福祉関係機関と協働で市民の新しいセーフティネットの体制作りに取り組んだ。

また、各地区民生委員児童委員協議会へ参画し、民生委員児童委員が取り組む高齢者、障害者（児）への支援、「地域子育てネット0～6会議」をはじめとする子育て支援活動等で明らかになった各地域の社会資源の把握や福祉課題の解決に向けた活動に対する支援を強化した。

引き続き、各地域の福祉課題解決に向けて、地区社協、民生委員児童委員、在宅介護支援センター、ボランティアなどとコミュニティソーシャルワークを実施強化していく。

5. 福祉事業

市民の求める多様な福祉ニーズに対応するため、介護保険事業、障害者自立支援事業、地域福祉権利擁護事業、福祉施設管理運営事業等を実施し、利用者本位の福祉サービス提供に努めた。

（1）介護保険関連事業

① 居宅介護事業（訪問介護事業「介護予防事業」含む）の実施

・訪問介護事業の実施

職員体制としては、常勤職員が核となり、職員間の連携を強化し、効率的で利用者のニーズに即した質の高いサービスの提供に努めた。

また、介護予防訪問介護については、利用者の介護予防・自立支援を目標にサービスを提供した。

●介護保険・訪問介護サービス介護度別利用者人数（月ごとの集計）

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	275名	149名	80名	98名	117名	719名

●介護予防訪問介護サービス区分別利用者数（月ごとの集計）

区 分	要支援1	要支援2	合 計
人 数	339名	253名	592名

●介護保険・訪問介護サービス内容別延利用回数

区 分	生活援助	身体介護	身体生活	合 計
回 数	3,216回	7,238回	1,786回	12,240回

②居宅介護支援事業の実施

	居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数	一ヶ月平均件数
居宅介護支援事業所 （四日市）	居宅サービス計画作成 779件 介護予防プラン作成 55件	69.5件
居宅介護支援事業所 （楠）	居宅サービス計画作成 770件 介護予防プラン作成 96件	72.1件
合 計	居宅サービス計画作成 1,549件 介護予防プラン作成 151件	—

利用者ニーズに即した質の高いサービスを提供する事を目標にマネジメントを行い、居宅サービス計画を作成した。近年、虐待、ターミナル、認知症独居、若年ケース等さまざまな環境におかれた利用者が増えてきている。また、介護者への支援も必要なケース（介護者が認知症、精神疾患、未成年など）もあり、多職種多様の事業所や関係機関と連携調整が必要となってきた。そのため個々の介護支援専門員の質を向上させるため研修会や会議等にも積極的に参加し、各居宅において定期ミーティングを行い各ケースの共有を図った。

- ・各居宅介護支援事業所においてケースミーティングを開催（毎月1回）
- ・介護保険サービス事業者等集団指導（1回）
- ・四日市市介護保険サービス事業者連絡会への参加（6回）
- ・消費者被害防止及び認知症研修への参加（2回）
- ・医療関係研修（ターミナル、在宅診療、感染症等）10回・参加2名
- ・福祉用具・住宅改修研修（新作特殊寝台説明会、住宅改修セミナー）5回・・・参加2名
- ・人権研修（交流分析、人権フェスタ等）1回・・・参加1名
- ・地域福祉関連研修 1回・・・参加3名
- ・三重県立総合医療センター意見交換会 4回・・・参加1名

③介護保険認定調査業務の実施

10,143件（更新・変更申請）の要介護認定調査を四日市市からの受託事業として、調査員19人体制で本業務を行った。

基準に則した適正な調査を行うため、介護・高齢福祉課とのミーティングや三重県主催の研修会に参加をした。

●月別件数（名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
在 宅	640	733	847	782	725	734
施 設	110	95	163	149	98	99
合 計	750	828	1010	931	823	833

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在 宅	773	624	686	714	795	815	8,868
施 設	100	90	98	88	100	85	1,275
合 計	873	714	784	802	895	900	10,143

- 介護・高齢福祉課とのミーティング 5回（5月・6月・8月・11月・3月）

- 参加研修会等
職場外研修

開催日	研修会名	参加人数
4月24日（金）	平成27年度認定調査員新規研修会	2名
9月10日（木）	平成27年度認定調査員現任者研修会	1名
10月19日（月）	平成27年度認定調査員現任者研修会	18名

④通所介護事業「ゆりかもめ」（介護予防事業含む）の実施

- ・「利用者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」「利用者本位」を基本理念に、安全・安心で信頼されるサービスを目指し、食事の提供、入浴、送迎、生活に関する相談・助言、健康状態

の確認、その他利用者に必要な日常生活上の支援、並びに機能訓練を提供した。

- ・実利用者数 1, 183名、延べ利用者数 8, 313名、一日平均 28.3名（昨年26.5名）であり、昨年度と比べて実利用者数が181名、延べ利用者数が408名と増加している。
- ・ボランティアの受け入れを積極的に行い、施設の日課の選択肢を広げ、医療依存度の高い方も積極的に受け入れるなど、サービスの向上に努めた。

●月別利用者数(名)及び営業日数(日)（介護保険・障害者・障害児含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	88	86	89	97	99	100	100	100	104	103	107	110	1,183
延利用者数	698	639	739	763	734	684	735	614	644	617	703	743	8,313
営業日数	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	24	26	294

介護保険事業では延べ8, 137人の利用があり、要介護は77% 介護予防23%であった。

●介護予防通所介護サービス区分別延利用者数(%)

区 分	要支援1	要支援2	合 計
人 数	314名(17)	1,534名(83)	1,848名(100)

●介護保険通所介護サービス介護度別延利用者人数(%)

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
人 数	2,845名 (45)	1,661名 (27)	1,077名 (17)	502名 (8)	204名 (3)	6,289名 (100)

<障害児・者デイサービス事業>

障害児に学校休業日や放課後の日中活動の場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休養）等を目的として、介護保険のデイサービス事業所等が活用できる「放課後等デイサービス事業」の利用施設として障害児を受け入れた。また、障害者に対する「基準該当生活介護事業所」の利用施設として障害者の受け入れも行った。

●放課後等デイサービス事業利用者数（障害児）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	16
延利用者数	2	1	3	4	6	3	4	2	4	3	2	10	44

●基準該当生活介護事業利用者数（障害者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	3	25
延利用者数	9	8	9	14	14	13	11	10	11	8	11	14	132

(2) 在宅福祉事業

①日常生活自立支援事業の実施

三重県社会福祉協議会の委託を受けて、判断能力に不安があり、契約内容を一定程度理解できる高齢者や知的・精神障害者等を対象に福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの支援を行った。新規契約件数は115件で、3期連続100件を超えた。

所長1人、専門員7人、事務補助員1人、生活支援員48人（四日市市41人、川越町5人・朝日町2人）体制で行政、民生委員児童委員や在宅介護支援センター等と連携を図り、事業を展開した。

また、生活支援員の資質向上を図るため、生活支援員研修会を開催するとともに、三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加した。

(ア) 相談件数…7,928件(年間)

相談対象別件数(件)及び割合(%)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
3,351 (42.2)	1,360 (17.2)	3,029 (38.2)	188 (2.4)	7,928 (100)

※相談件数は、専門員及び推進員が利用者や市民等から相談を受け支援を行った件数

(イ) 契約締結件数推移(件)

年 度	新規契約件数	契約解除件数	年度末契約件数
26年度	102	51	313
27年度	115	65	363

(ウ) 平成27年度末実績

a 生活支援員の派遣状況(件)

週に1回	隔 週	月に2回	月に1回
192	46	69	56

b 利用料負担状況(1回1,000円)

有料	無 料
82件	281件(生活保護受給者…173件、住民税非課税者…108件)

c 市町別契約件数内訳(件)

四日市市	朝日町	川越町	その他
344	4	11	4

d 契約対象内訳(件)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他
179	61	112	11

e 延支援回数(回)

生活保護	非課税	非課税(有料)	課 税	計
6,568	3,734 (3,639)	1,600	696	12,598

※()内:市助成対象件数

※非課税(有料):住民税非課税者で預貯金200万円以上の利用者

(エ) 生活支援員研修会の開催・参加

a 四日市市社会福祉協議会主催

日時 平成28年1月20日(水) 13時30分～15時30分

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 31名

内容 講義 「介護保険と高齢者施策について」

講師 介護・高齢福祉課 瀬古 一成 氏

b 三重県社会福祉協議会主催

日時 平成27年10月6日(火) 13時30分～16時10分

目的 生活支援員の資質向上を図る。

参加 29名

内容 ①講義 「利用者との関係づくりと支援方法について」

講師 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授 山崎 美貴子 氏

②パネルディスカッション 「支援のあり方を考える」

パネリスト 日常生活自立支援センター

生活支援員 森 洋子 氏 ほか2名

(3) 障害者自立支援事業

①居宅介護事業（訪問介護事業「介護予防事業」含む）の実施

障害のある人が事業者との対等な関係にもとづき、自らサービスを自由に選択し、契約によってサービスを利用する自立支援制度に基づき、自己決定・自己選択を尊重し、サービスを提供した。

●自立支援制度・居宅介護サービス利用者数（月ごとの集計）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
平成26年度	525名	94名	236名	855名
平成27年度	480名	121名	254名	855名

●自立支援制度・居宅介護サービス内容別延利用回数

区分	家事援助	身体介護	合 計
平成26年度	4,743回	7,124回	11,867回
平成27年度	4,365回	6,723回	11,088回

(4) 福祉施設等管理運営事業

①中地域包括支援センター

(ア) 包括的支援事業

・総合相談支援業務及び権利擁護業務

本人、家族、近隣の住民、地域のネットワーク等を通じた様々な相談を受け、管内の在宅介護支援センターと連携し、相談内容に即したサービスや制度に関する情報を提供しながら対象者への個別支援を行った。また、高齢者の権利擁護の観点から支援が必要な方については、三泗日常生活自立支援センター等の関連機関と連携し対応を行った。(相談件数年間6,019件)

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	79	66	33	178
訪 問	4,728	97	46	4,871
電 話	273	307	390	970
合 計	5,080	470	469	6,019

上記のうち、高齢者虐待に関する相談件数 年間59件

三泗日常生活自立支援センターと連携し対応を行った件数 年間41件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

a 在宅介護支援センター中ブロック会議

管内の在宅介護支援センター間及び地域包括支援センターと管内の在宅介護支援センター間の連携・情報交換を目的に開催。今年度は、各地区で挙げられた地域課題をもとに、地区・圏域・市レベルそれぞれで取り組むべき課題の整理・解決方法についての意見集約を行った。(年4回)

b 介護サービス事業者との連携

四日市市介護保険サービス事業者連絡会の企画・運営等に参画し、介護支援専門員や、他の介護サービス事業者との連携を図り、質の高いサービスの提供を図るための研修会や情報交換を行った。また、地域密着型サービス事業所については、同事業所が開催する運営推進会議に積極的に参加して連携を図った。(介護保険サービス事業者連絡会への参加・年16回、地域密着型サービス事業所運営推進会議への参加・年31回)

c 中地域医療・介護ネットワーク会議の開催

医療と介護の「顔の見える関係づくり」による円滑な連携を推進するため、三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)、訪問看護ステーション、訪問リハビリ事業所、病院の地域連携室など医療分野の関係者と福祉・介護分野の関係者が一堂に会する会議を開催し、症例検討、グループワーク等を実施した。(年3回)

d 認知症高齢者等の地域支援体制づくり

認知症高齢者を支えるための基盤づくりとして、地域住民や企業・団体を対象にした認知症サポーター養成講座等を開催し、地域における認知症に対する理解の促進のための事業の調整及び協力を行った。(年15回)

e 地域包括支援センター連絡会への参加

包括的支援事業の実施状況や介護予防事業の進捗状況の報告及び情報交換のために、市が開催する連絡会に参加した。(年9回)

f 介護支援専門員に対する支援

随時地域の介護支援専門員からの個別相談に応じ、支援困難事例への助言やサービス担当者会議の開催支援等の対応を行った。また、介護支援専門員実務研修会等に派遣され、講義や演習を通じて、介護支援専門員への助言・指導を行った。(年24回)

g 地域ケア会議準備会の開催・参加

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、地域課題の抽出とその解決方法についての協議を行うと共に、個別・地区地域ケア会議の実施に向けての具体的な検討を行った。(年32回)

h 個別地域ケア会議の開催

在宅介護支援センター・生活支援コーディネーター・民生委員等の関係者と共に、個別ケースの検討を通じて、地域課題の抽出・課題解決方法についての協議を行った。(年5回)

i 医療・介護連携地域ケア会議の開催

中地域医療・介護ネットワーク会議世話人会に併せて開催。今年度は、管内の医療・介護専門職に対し、「在宅医療・介護における多職種連携に関するアンケート」を実施するなど、多職種連携の課題抽出作業を行った。(年7回)

j 地区地域ケア会議への参加

在宅介護支援センター運営協議会や地域ケアネットワーク会議を通じて、または在宅介護支援センターが独自に地域の介護支援専門員や民生委員等を招集して会議を開催する等、管内の在宅介護支援センターが主催する会議に参加し、地域課題の抽出・課題解決方法の検討を行った。(年21回)

(イ) 要支援者(予防給付)の介護予防プランの作成

要介護認定で要支援1・2と認定された方に対して、自立に向けた具体的目標を明確にした介護予防プランを作成し支援を行った。

<介護予防プラン担当件数>

年間11,268件(月平均939件)内、他事業所への委託分3,414件(月平均284件)

(ウ) 地域支援事業における介護予防事業

・二次予防事業

二次予防事業対象者の方に対して、要介護・要支援状態となることを予防とした通所型介護予防事業を実施した。

a 運動器の機能向上「いきいきフレッシュ倶楽部」(実施回数42回、実参加人数41名、延参加人数203名)

b 口腔機能向上「WELL(ウエル) 噛む教室」(実施回数26回、実参加人数43名、延参加人数85名)

c 送迎回数 65回

・一次予防事業介護予防教室

在宅介護支援センター及び健康ボランティアの協力を得て「よっかいち・はつらつ健康塾！」を開催し、管内の第1号被保険者の方を中心に、介護予防の基本的な知識を普及・啓発するための講義や運動プログラムを実施した。(実施回数66回、延参加者数1,150名)

②くす在宅介護支援センター

(ア) 総合相談

四日市市からの委託を受けて楠地区を担当エリアとし、高齢者・障害者等の各種相談に対応した。相談内容に応じて、介護保険サービスのほかに高齢者福祉サービスの申請代行及びインフォर्मールサービスが利用できるように調整を行った。

<相談件数>

	本人	家族	その他	合計
来 所	27	93	14	134
訪 問	287	18	2	307
電 話	57	80	115	252
合 計	371	191	131	693

<昨年度実績>

	本人	家族	その他	合計
平成26年度	290	172	152	614

(イ) 地域連携、協力体制の構築

- ・楠地区民生委員児童委員協議会定例会への参加(毎月第二木曜日)
- ・楠地区社会福祉協議会総会への参加
- ・楠地区老人クラブ連合会役員会への参加
- ・楠地区内居宅介護支援事業所情報交換会の開催

(ウ) 介護予防普及啓発、福祉活動推進事業

- ・転倒骨折予防教室「こけねえずクラブ」の開催(毎月：第1・3水曜日)参加者：平均24名/月
- ・若がえり体操教室(毎月第2火曜日)参加者：平均12名/月
- ・地域行事への参加
街角くらぶ、老人クラブの集まり等へ参加し、在宅介護支援センターのPR、消費者被害の情報提供を行ったり、介護保険制度の説明、介護予防体操、認知症予防等の出前講座を実施した。
- ・家族介護者の集い「認知症カフェ」「ほんわかカフェ」の集い 毎月1回
- ・「街角カフェ」運営協力
- ・地域拠点「楠の木 なんのき」の立ち上げ支援

(エ) 一次予防事業

- ・「よっかいち・はつらつ健康塾！」の協力

地域包括支援センター・在宅介護支援センター・健康ボランティア(ヘルスリーダー)と協働し、介護予防に関する知識を普及・啓発を行った。

実施回数：全9回開催

(オ) 地域ケア会議の開催

・中学生対象とした地域ミニ会議	10月16日(金) 10時～	10名
・楠地区民児協を対象とした地域ミニ会議	11月12日(木) 10時30分～	30名
・50～60代を対象とした地域ミニ会議	12月12日(土) 15時～	12名
・30～40代を対象とした地域ミニ会議	2月26日(金) 19時～	18名
・各団体代表による地域ケア会議	3月10日(木) 13時30分～	20名

③中央老人福祉センター（指定管理施設）

施設の市民利用に供するほか、民踊、詩吟、水墨画、大正琴教室を開催するとともに看護師を配置し、機能回復訓練及び健康相談などに応じるとともに毎日健康体操をして高齢者の健康管理に努めた。また、利用者ニーズに基づき、歌謡ショー、落語、音楽会を開催した。さらに三重県警に協力を得ながら交通安全や振り込め詐欺を未然に防ぐための啓発を行った。

・健康相談日数 234日 ・延人数 4,217名 ・1日平均 18名

【利用状況】

団体利用数	一般利用数	計	一日平均	開館日数
351団体	6,130名	32,410名	129名	297日

④障害者自立支援施設「共栄作業所」（指定管理施設）

「共栄作業所」は障害者自立支援法で定められた新事業体系への移行を平成23年4月に実施し、就労継続支援B型事業所として5年目を迎えた。当作業所は、一般の事業所に雇用されることが困難な利用者に対し、生産活動・その他の活動をとおしての仲間づくりや生活面での自立を目指して支援を行った。また、受注作業や自主製品作業に取り組むとともに、利用者の高齢化・障害の重度化が進行する中で、個々の能力や身体機能に見合った作業と生活の支援を行うことで、心身ともに充実した日々が送れるように努めた。

さらに、利用者が地域で充実した生活を送れるよう、保護者会（NPO法人）が、主体となって取り組んできたグループホーム「クローバーの家」、「しらとりホーム」の運営についても、グループホーム担当者会議への参画や、主催行事等への協力を通じて連携を図った。

利用者数35名（定員37名）

活 動	内 容
自主製品作業	さをり織り、縫製
受 注 作 業	リサイクル解体作業、封筒点字刻印、贈答品箱詰め、製品飾り付け作業、段ボール組み立て作業、農耕関連作業、割箸の袋入れ作業、段ボール製品穴あけ作業、木工製品加工作業
実 習	目的別社会実習（買物・ボウリング等）サークル活動（リズムダンス、カラオケ、ドライブ、町に出よう）
社 会 体 験	即売出店、社会工場見学、さをり織り展示会
運動・レクリエーション	散歩、余暇活動、体操、音楽鑑賞、ミニ運動会、カラオケ大会、ボランティア交流会

- ・自主製品の販売促進のため、地区文化祭などの各種即売に積極的に参加した。また、常時、製品の展示・販売を常設の店舗で行った。
- ・イオン四日市尾平店「福祉の店」で即売活動を行った。
- ・市主催じんけんフェスタで展示即売会を行い、さをり織り体験も実施した。
- ・四郷文化祭ふるさとまつり、四日市萬古まつり（春、秋年2回）のイベントなどに参加し、当事業所のPRと併せて啓発活動を行った。
- ・第7回目の「さをり織り展示会」を今年度も昨年に引き続き作業所で開催し、さをり織りのPRと販売の拡大に努めた。
- ・個人、団体ボランティアとの連携を図り、作業への協力や、地域交流会(ミニ運動会)、ボランティア交流会(カラオケ大会)をとおして利用者との交流促進をした。

- ・見学者を受け入れ、利用者との交流や障害者理解の促進、福祉体験の場を提供した。
- ・昼の休憩時に遠出の散歩などによる体力づくりに努めるとともに、利用者の健康状況に合わせた食事の提供を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を定例的（年3回）に開催した。
- ・全国社会福祉協議会セルフ協の承認を受けた「幻のなたね油」の販売を継続し、農耕関連作業による就労支援活動の充実を図った。
- ・利用者へのサービスの質の向上を図るため、みえ福祉第三者評価の受審結果に基づき、改善委員会を設けた。
- ・施設機能を活かし、教育系大学から介護福祉実習（教員免許等資格取得のため）の学生を受け入れた。
- ・毎月1回地震または火事の発生を想定し、避難訓練を行い、災害時の行動・対応について、および危機管理意識の向上を図った。

⑤障害者自立支援施設「たんぽぽ」（指定管理施設）

常時介護を必要とする重度の障害者に対して、利用者一人ひとりに応じた「個別支援計画」を作成し、排泄・食事等の介護や創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援を行った。また、障害者の社会参加に重点を置き、地域住民との交流・社会体験の機会を多く設けた。

さらに、利用者の重度化と高齢化による機能低下に対応して、家族や関係機関との連携を深め地域で豊かな生活が実現していくための支援を実施した。

利用者数32名（定員35名）

活 動	内 容
作 業 活 動	アルミ缶回収、缶つぶし、リサイクル用品解体
自 立 訓 練	散歩、身体機能訓練、理学療法（相談を含む）、音楽療法、感覚統合療法、乗馬療法、プール
生 活 活 動	食事、排泄、更衣、歯磨き、社会体験、買物実習、一泊社会体験、グループ外出、半日外出
文 化 活 動	レクリエーション、紙すき、ビーズ、園芸、ステンシル、工作、季節活動、音楽活動、ピアノ鑑賞
在 宅 支 援	相談支援事業所・ショートステイ先等との連携、福祉制度・福祉サービス情報の提供
日 中 一 時 支 援	四日市市の地域生活支援事業として障害者総合支援法に基づく日中一時支援サービスを提供する。原則として自立支援給付費の支給決定を受けた方を対象とし、広く市民の方に施設を利用して頂けることを目指した。

- ・利用者の身体状況や家族の高齢化など家庭の事情により、外出が困難な利用者や、外出の機会が少ない利用者により一日外出・半日外出を実施するとともに、外出先で食事・買い物をするなど経験領域を広げた。
- ・宿泊を通して、利用者の様々な可能性を見出すことを目標に「一泊社会体験」（鳥羽・松阪方面）を実施し、公共交通機関を利用することで、より体験の幅を広めるとともに、社会への啓発を行った。
- ・アルミ缶回収を通して、地域住民や企業及び小・中学校との交流を深めた。また、たんぽぽ主催のお茶会・夏祭り・餅つき大会・四郷高校吹奏楽部演奏会などの地域交流行事の開催、地域清掃活動の実施、笹川中学校体育祭・文化祭・四郷高校文化祭・四郷地区文化祭など、学校・地域行事に参加し、交流を深めた。他、イオン四日市尾平店での「福祉の店イベント広場」に参加して即売と施設の紹介を行い、地域住民との交流に努めた。
- ・缶回収で、地域の小学校を定期的に訪問し、児童との交流を深めるとともに、環境理解や障害

理解の促進に努めた。

- ・災害への備えとして、保護者とともに災害用伝言ダイヤルの使用についての体験勉強会の実施、災害時緊急袋・緊急対応カードの整備を行った。
- ・地域交流を深めるため、近隣の四郷在宅介護サービスセンター・グループホーム・四郷保育園・高花平保育園等の利用者の方と行事を一緒に行い、より地域に根づいた施設運営を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表、ボランティア代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を3回開催した。また、四郷地区の防災行事・人権研修に参加し、地域の一員としての活動にも力を入れて取り組んだ。

⑥障害者自立支援施設「あさけワークス」（指定管理施設）

就労や生産活動の機会の提供、一般就労に必要な知識や能力向上のために必要な訓練を行なう施設として適切な運営に努めた。利用者の障害特性を把握し、一人ひとりに応じた支援プログラムを考え、個別支援計画に基づいて支援を実施し、利用者の就労意欲を引き出し、利用者によっては就労移行支援事業等への利用を目指せるよう取り組みを行なった。

利用者数15名（定員20名）

活 動	内 容
受 注 作 業	シール貼り、ゴム製品バリ取り、銅線紙はがし作業など
自 主 作 業	点字名刺・名刺刻印作業 ストラップ、クラフト製品作りなど
リサイクル作業	アルミ缶回収、空き缶分別作業
地 域 交 流	地域交流会、花見交流会、八郷地区ふれあいまつり、 地域清掃、クリーンアップ八郷、福祉の勉強会

- ・地域交流への取り組みとして、地区の招待行事「八郷ふれあいまつり」に参加し、自主製品の販売とともに施設紹介を行い近隣住民との交流を図った。
- ・八郷社会福祉協議会との共催事業「福祉の勉強会」を開催し、高次脳機能障害についての理解を深めるとともに、地域住民と施設利用者との交流を図った。
- ・体験学習の場として、市内小・中学校生徒の福祉体験や職業体験などを受け入れ施設や障害への理解を促す機会を提供した。
- ・施設も地域の一員であることを自覚するために、月一回程度、利用者・職員全員で朝明川の堤防沿いを中心に地域の清掃を行った。
- ・地域に根ざした施設運営を図るため、地域住民、保護者代表等で組織する「施設サービス運営委員会」を開催した。

⑦障害者福祉センター（指定管理施設）

障害のある人の社会参加と交流の促進を目的として、身体障害者デイサービス事業等を実施するとともに、併せて障害者福祉関係団体の支援や障害者ボランティアの養成、障害者福祉の啓発等を行った。各事業の実施にあたり、市社協がもつ様々な部署と連携して、公の施設として公正・公平かつ専門職によるサービスの提供に努めた。

(ア) 身体障害者デイサービス事業

a 機能訓練事業

言語訓練では、主に脳血管障害の後遺症により、言語に障害のある人を対象に言語症状や社会参加の状態に合わせて個別及び集団による訓練を行なった。また、高次脳機能障害者の集団訓練では、社会参加の機会を広げ、残された機能の向上のための訓練を実施した。

理学療法では、事故や疾病の後遺症などにより、身体機能が低下した在宅の人を対象に機能訓練を実施した。特に、家庭でできる自主訓練の指導など、日常的に取り組めるプログラ

ムを提案し、身体機能の維持を目指した。

b 社会適応訓練事業

歩行訓練では安全な移動手段としての白杖歩行技術の習得を目的として、移動面の自立支援を行った。すでに訓練を終了した人で転居に伴う歩行訓練を短期間で集中して実施した。また、「点字」という文字を獲得することで、自分自身で生活に必要な情報を得られるよう点字教室を開催した。視覚と聴覚に障害のある重複障害者に対して、コミュニケーション手段としての点字の学習の場を提供した。

c 創作的活動事業【コーラス（合唱）・音楽教室】

合唱や音楽演奏を通して自分の思いを表現したり、皆で一つの音を創りあげる活動を行った。サークル化へは至らなかったが、講師の活動先へつながる動きや各自の生活の中に音楽の世界が加わり、生活の幅を広げることができた。

●身体障害者デイサービス事業実施状況

			契約者(名)	回数(回)	延利用者数(名)
1	機能訓練事業	言語訓練	5	1 5 1	1 5 1
		社会適応訓練Ⅰ・Ⅱ	9	3 9	1 4 4
		終了者フォロー等		2 1 9	2 1 9
		理学療法	3 5	3 3 1	3 3 1
2	社会適応訓練事業	点字教室（視覚障害者）	7	2 2	9 1
		歩行訓練（視覚障害者）	2	5 0	5 0
		相談等		0	0
3	創作的活動事業	コーラス（合唱）・音楽教室	1 0	1 9	1 3 0

d 障害児デイサービス事業

18歳以下の児童を対象に、長期休暇中に活動する場を提供するとともに、保護者のレスパイト（休息）等を目的として実施した。家庭や学校では体験できないことを企画し、自律と自主性を育んだ。（利用契約者数53名）

回 数	小学生	中学生	高校生	計
13回	33名	19名	10名	62名

e 失語症会話パートナーとの交流会

失語症者が失語症会話パートナーを利用して、会話を楽しむ場を提供した。

	参加者（名）	回数（回）	延参加者数（名）
失語症者	15	22	205
失語症会話パートナー	20		212

f 難聴者・中途失聴者教室

難聴者に対し、聞こえにくさを補い周囲への理解を促す方法や、(様々な道具を使用して聞こえと向き合っている) 難聴・中途失聴者の体験談や座談会を通して学ぶ機会を作った。

開催日	内 容	参加者
11月29日(日)	「聴こえやコミュニケーションで困っていませんか? ～役に立つ耳マーク、筆談グッズ、筆談アプリも紹介～」 講師：(一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 要約筆記部 副部長 三重県難聴・中途失聴者協会副会長 藤谷 弘晃 氏	11名

12月 5日(土)	「みみよりな話～こんな話、こんな体験」 実行委員 5名の体験発表 講師：「病院受診の工夫」 前田 眸 氏 「家から一歩前へ」「補聴器店とよき関係を作ろう」 森 六四枝 氏 「難聴者であることを話そう」 谷崎 幸平 氏 「家族に気兼ねせずにテレビを見よう」 小岐須 治美 氏 「自分の聴こえを客観的に知ろう」 大宮 公子 氏 ・自己紹介や座談会	6名
-----------	--	----

g 障害者相談業務

障害者の自立と社会参加を促進するため、障害者の抱えている課題の解決に向けて言語聴覚士、理学療法士、歩行指導員など経験豊かな専門職員が相談にあたり、より専門的な相談支援機関への紹介等を行った。

(イ) 障害者福祉関係団体の支援

各団体の活動拠点として貸館や、備品の貸出を行った。利用者アンケートやセンター連絡会にて意見を聴取し、より快適な活動環境の整備に努めた。また、障害者大会の成功に向けて支援を行なった。

登録団体：四日市市身体障害者団体連合会（6団体）、心身障害者団体連絡協議会（3団体）、障害児者関係団体（29団体）、創作的活動自主サークル（8サークル）、ボランティア団体（14団体）の登録がある。

(ウ) 障害者福祉に関する啓発・情報提供

a かけはし掲載5回

社協の広報紙『かけはし』の『障害者福祉センターだより WITH』の常設コーナーで四日市市民向けに広報した。今後も紙面の充実や工夫をはかる。

b 障害者福祉講座の開催

開催日	内 容	講 師	参加者
3月13日(日)	「障害者スポーツを楽しもう！ ～よって、つながって、かかわって、いっしょになって、みんなでちゃれんじ！～」 障害者スポーツの紹介・体験イベント、講演会の開催 場所：北勢きらら学園 体育館	講師：三重チャリオッツ 体験コーナー ・車いすバスケットボール （三重チャリオッツ） ・SSピンポン （エンジョイSSピンポンクラブ） ・ボッチャ （ボッチャサークルコロコロ四日市） ・ツインバスケットボール （三重フロンティアズ） 展示コーナー（上記以外を記載） ・セイラビリティ三重 ・三重県電動車椅子サッカー協会 ・三重県身障者スポーツ吹矢協会	40名

c 出前講座の開催

障害者が地域で安心して暮らせるよう地域の障害者に関する理解の促進を図るため出前講座を開催した。情報の授受に関して自分が工夫していること、配慮して欲しいことなどについて障害当事者を講師に迎え体験談を中心に進めた。

開催日	依頼者／開催場所	対象	内容・講師	参加者
6月3日(水)	橋北地区民生委員・児童委員協議会 場所：橋北地区市民センター	同左	肢体障害の理解（失語症） 講師：芝原 政幸 氏	21名
9月3日(木)	四日市人権擁護委員協議会 場所：四日市なやプラザ	四日市 人権擁護委員	障害に対する正しい理解を進めるために（視覚障害） 講師：日置 芳子 氏	26名
9月29日(火)、 30日(水)	四日市市職員研修所 場所：総合会館	四日市市新規 採用職員研修	障害理解のために 講師：芝原 政幸 氏	44名 43名
12月12日(土)	海蔵地区社会福祉協議会福祉部 場所：海蔵地区市民センター	海蔵地区住民	福祉講演会 失語症について 講師：浦口 治博 氏	24名
1月23日(土)	八郷地区社会福祉協議会 場所：あさけワークス	八郷地区住民	福祉の勉強会 DO YOU 脳？ 見かけだけではわかりません。 「ともに生きるために」 (失語症・高次脳機能障害) 講師：丸山 聖子 氏・典子 氏	30名

(エ) 要約筆記奉仕員派遣調整等

要約筆記奉仕員派遣を232件（うち、市派遣事業：184件）行った。

⑧障害者自立生活支援センター「かがやき」

障害のある人が地域で自分らしい、心豊かな生活が送れるよう幅広い支援に努めた。支援対象者は身体障害者だけでなく、精神障害と身体障害が重複した重度の人や高次脳機能障害の人も多く、関係機関による支援ネットワークの構築が求められた。

(ア) 相談業務

●相談件数（件数）

	実人員 ※重複含む	身体 障害	重症心身 障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他
26年度	239	143	4	50	17	3	2	30
27年度	242	144	4	44	15	2	1	43

●相談方法（件数）

	訪問	来所	同行	電話 メール	ケース 会議	関係機関	その他	計
26年度	349	304	76	660	38	2,313	34	3,774
27年度	370	351	85	1,258	45	2,396	46	4,551

●相談内容（件数）

	福祉 サービス	障害 病状の理解	保 健・ 医 療	不安解消 情緒安定	保 育・ 教 育	家族関係 人間関係	家 計・ 経 済
26 年度	2, 0 2 8	8 3	2 8 9	1 2 2	7 1	2 7 4	1 1 8
27 年度	2, 3 2 4	1 2 2	6 9 0	1 4 2	5 4	1 3 7	2 0 0

	生活技術	就 労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	計
26 年度	1 8 9	1 2 5	5 6	1 8 3	3 1 1	3, 8 4 9
27 年度	2 7 5	1 1 6	3 2	5 3	4 0 6	4, 5 5 1

(イ) 自立支援協議会生活支援部会の運営

四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会の専門部会である生活支援部会において、地域課題の抽出と解決に向けた協議を行った。第4期障害福祉計画の推進について部会でも協力することとなり、居住系連絡会で施設入所者の地域生活移行に関する課題の集約を行い、四日市障害保健福祉圏域自立支援協議会へ提案した。このほか『高齢化』をテーマに、各連絡会で問題提起や四日市市の出前講座を活用した学習会などを開催し、障害者の高齢期の暮らしにおける支援体制の構築（ネットワークづくり）について協議した。

生活支援部会：4回

準備委員会：4回

構成委員：行政、障害者支援施設、グループホーム・ケアホーム、生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、居宅介護事業所、障害当事者、相談支援事業所

連絡会：（居住系サービス事業所連絡会関連会議） 7回

（居宅介護事業所連絡会関連会議） 7回

（通所事業所連絡会関連会議） 4回

（GH連絡会関連会議） 6回

(ウ) 特定相談支援事業

障害者福祉サービス等を申請した障害者について、サービス等の利用計画の作成及び利用計画のモニタリングを行い、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援をした。

●計画支援実績

	新規計画	モニタリング	更新・変更計画
平成 26 年度	1 0 1 件	2 6 2 件	3 5 件
平成 27 年度	5 7 件	3 8 2 件	1 4 4 件

⑨視覚障害者福祉センター

市内在住の視覚障害者を対象に、はり・きゅう・マッサージを職業としている人の技術向上を目的とした三療学術講習会を開催した。

また、情報提供のため、市の公文書などの点訳業務（240件）を行ったほか、団体活動の場を提供した。

講座名	内 容	回 数	利用者数
職業訓練	8月20日（木）13時～15時30分 「経絡マッサージに基づく、スポーツマッサージの実際」 講師：朝日山治療室 はり・きゅう・マッサージ師 （公財）日本体育協会公認 アスレティックトレーナー 朝日山 一男 氏	1回	13名

11月19日（木）13時30分～15時 「健康づくり講座」 講師：四日市市健康づくり課 今村 厚美 氏、片山 英人 氏	1回	12名
---	----	-----

⑩障害者就業・生活支援センター「プラウ」

障害者雇用は依然として厳しい状況にあるが、87人が一般事業所に就職。相談者中には発達障害が疑われる人が多くなり、知的に重度ではないにもかかわらず、コミュニケーションスキルや社会性で多くの課題を抱えている人が目立ち、ますます専門的な支援が必要とされている。関係機関が連携しての障害者雇用についての啓発や事業所開拓はたいへん厳しい現状にあり実行性のあるネットワークの構築が求められる。

(ア) 相談業務の実施

●登録状況（名）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
平成26年度	92	335	292	10	729
平成27年度	102	371	330	13	816

●ツール別延べ相談回数（回）

	来所	電話 文書メール	家庭 入所施設訪問	職場訪問	他の支援 機関	合 計
26年度	2,044	5,519	147	1,003	1,705	10,418
27年度	1,974	4,347	540	847	1,988	9,696

●相談内容別延べ相談回数（回）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
就職に関する相談	348	1,335	1,676	133	3,492
職場定着に係る相談	162	1,229	1,073	15	2,479
生活に係る相談	194	952	577	44	1,767
就業と生活の両方にわたる相談	336	714	860	48	1,958
合 計	1,040	4,230	4,186	240	9,696
(平成26年度合計)	977	5,424	3,876	141	10,418

●就職した障害者の数（名）

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合 計
26年度	5	33	25	2	65
27年度	5	43	39	0	87

(イ) 関係機関との連携

a 自立支援協議会雇用部会、関係機関連携会議（11回）

参加機関 津障害者職業センター、北勢福祉事務所、障害者雇用アドバイザー、四日市市公共職業安定所、一市三町障害福祉課、四日市市商業勤労課、学校関係、就労移行支援事業所、精神障害者相談支援事業所、当事者団体等20機関。

内 容 各関係機関の取り組みを情報交換し、障害者の雇用について啓発活動や研修会などを実施。

b 四日市障害者雇用促進事業 講演会、研修会、先進企業視察（四日市市商業勤労課と共催）

日 時 平成28年2月25日（木）・26日（金）

参加人数 一日目70名、二日目20名

内 容 講演「障がいのある人が働くということ」～ジョブコーチ支援の現場から

「働きたい！を応援する」～ハートフルプロジェクトによる障害者雇用の推進～
 研修会「障害者雇用制度について（制度、助成金）」
 先進企業視察 SWSスマイル株式会社・ブリヂストンケミテック株式会社

(ウ) 講座の開催

就労・定着支援講座（29名）

日 時 平成28年3月13日（日）

内 容 就労障害者を講師に招き、求職中の障害者やその家族に対して就職活動をする上で重要なことや働いている大人として持つべき意識について講座を開催した。

(エ) 定着支援のために

a つどい 退社後や休日に集まり、リフレッシュを兼ねた活動や近況報告などをして交流する。

第1回：平成27年 6月28日（日） 第2回：平成27年 8月13日（木）

第3回：平成27年11月14日（土） 第4回：平成28年 3月13日（日）

b 就業している障害者の激励会と交流会（36名）

日 時 平成27年12月20日（日）

内 容 激励会と情報交換会を実施

⑪障害者就労支援事業ワークセンター

就労を希望する障害者を対象に、市役所等において、就労に向けた職場訓練を行い、就労に対する意識づくりを高め、次のステップへの土台作りを行った。また、市内事業所17社を関係機関とともに訪問し、障害者雇用の啓発を行った。

(ア) 職場実習の状況

●実習した障害者別の人数と日数

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
26 年度	1 名	0 名	1 1 名	1 2 名
	3 1 日	0 日	4 1 7 日	4 4 8 日
27 年度	0 名	0 名	1 0 名	1 0 名
	0 日	0 日	4 9 3 日	4 9 3 日

●職場実習後の状況

一般就労2名、就労継続支援（A型）2名、就労移行支援事業所から一般就労1名、求職中4名、ワークセンター訓練継続中1名

⑫よっかいち福祉の店

社会福祉施設利用者や在宅高齢者などの手作り作品を、販売ボランティアの協力を得て、販売した。また、地区文化祭等行事、北伊勢上野信用金庫、その他各関係機関のご協力により、展示即売会を32回実施した。

運営委員会を開催し、運営のあり方、収支等について協議した。

・常設店	イオン四日市尾平店3階	開店日数（年間）	362日
	市総合会館1階	開店日数（年間）	198日
・年間売上実績	8,381点		3,169,410円

⑬おもちゃ図書館

障害の有無に関わらず、子どもたちが「おもちゃ」を通じて、情操や知的・身体的機能を高め、てふれあうことや、おもちゃ図書館や移動おもちゃ図書館へ来館する親の子育て支援を目的とし、

おもちゃ図書館ボランティア「よっちゃんグループ」の協力を得て運営を行った。

平成27年度は、おもちゃ図書館の設立及び運営ボランティアよっちゃんグループの結成25周年であり、これを記念して手づくり人形劇「大きなかぶ」の出前上演と、よっちゃんグループ記念誌を発行した。

●おもちゃ図書館利用実績

年 間 利 用 者 数 など	
児 童	4, 1 2 8名
保 護 者	3, 5 3 0名
利用者合計	7, 6 5 8名
年 間 開 館 日 数	2 2 4日
1日あたりの利用者数	3 4名

●団体利用実績〔18回〕

種 別	施 設 名	回 数	延べ利用者数
四日市市児童発達支援センター	あけぼの学園	18回	166名

●移動おもちゃ図書館〔8回〕

実 施 日	種 別	利用者数
5月20日(水)	あがた保育園 子育て支援センター	40名
8月26日(水)	下野中央保育園 子育て支援センター	23名
9月 9日(水)	三重地区民児協子育て支援(大風のため中止)	— 名
10月 7日(水)	笹川保育園 子育て支援	50名
11月18日(水)	大矢知保育園 子育て支援	52名
12月17日(木)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	88名
1月13日(水)	海蔵保育園 子育て支援	34名
2月 4日(木)	神前地区民児協 子育て支援	40名
3月 2日(水)	八郷西保育園 子育て支援	44名
	合 計	371名

●おもちゃ図書館まつり

実施日 平成27年 7月16日(木)
 場 所 四日市市文化会館 第4ホール
 参加数 171名(乳幼児90名、大人81名)
 内 容 魚つり・ボーリング・まとあてなど体を使って遊べるコーナー、乳幼児向けのおもちゃコーナー、手づくり布絵本コーナーなどの各種コーナーの設置と、ボランティアによる手づくり人形劇『大きなかぶ』の開催。

●おもちゃ図書館&よっちゃんグループ25周年記念事業

〔手づくり人形劇「大きなかぶ」の上演〕

NO	月 日	場 所	参加人数
1	12月17日(木)	橋北子育て支援センター ぽっぽ	88名
2	2月 8日(月)	あけぼの学園	78名

〔記念誌発行〕

題目：四日市市おもちゃ図書館運営ボランティアよっちゃんグループ
 「写真でつづる25年のあゆみ」(全22ページ)
 発行部数：40部発行

⑭母子・父子福祉センター（指定管理施設）

母子家庭及び寡婦の経済的・精神的負担を軽減し、生活の安定と自立を促進するため、各種相談や技能習得講座を実施した。今年度から履歴書の書き方講座を新設した。また、趣味を通じての生きがいやふれあいづくりを目的としてサークルを支援した。

・相談件数 293件

【技能習得講座・サークル実施状況】

講座・サークル名	回数	延人数
技能習得講座		
・パソコン	15回	80名
・履歴書	1回	3名
サークル		
・書道	24回	295名
・手芸	24回	132名
・ちぎり絵	12回	87名
・編み物	23回	155名
・和裁	34回	84名
・リフォーム	24回	136名
合 計	157回	972名

6. その他の事業

（１）福祉サービス相談窓口の開設

市社協が提供する福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者の権利を擁護し、利用者が福祉サービスを快適に利用することができるよう支援するため、福祉サービス相談窓口を開設した。

●相談受付状況

種別	NO	所属名	申出人及び分類	申出内容	対応及び結果
要求	①	訪問介護事業所	以前の本会サービス利用者 物品の紛失	所有している貴金属がなくなったので、調べてほしい。	当時の担当ヘルパー等に事実確認を行うが、貴金属の所在すら不明であった。申出人は本件について確証のないことを心に留め置く事が苦になっており、相談された事で納得された。 各ヘルパーにはミーティング等に本件の報告を行い、疑われるような行為がないよう注意喚起を行った。
要求	②	おもちゃ図書館	利用者 職員の言動	利用された子どもに対する言葉かけや、施設利用時の説明について一考してほしい。	子どもに対する注意の言葉かけがきつ過ぎた点と、初めて利用したが利用方法がよくわからなかった、という申出。 まずは担当職員に事実確認を行い、心当たりがあったため指導を行うとともに、職員、ボランティアの会議で本件を報告し、注意喚起を行った。その旨を申出人に報告し、納得された。

要求	③	ゆりかもめ	利用者 金銭の盗難疑惑	入浴中に、財布から現金を盗まれたと思うので、調べてほしい。	当初は本会職員を疑われての申出であったため、当日、担当した職員に事実確認を行うが、心当たりもなく不明であった。 今後は全利用者に原則、貴重品を持参されないよう文書通知するとともに、万が一持参された場合は金庫でお預かりすることとした。 以上を申出人と家族に報告し、納得された。
請求及び責任追及は0件					
結果		解決		3件	
		継続		0件	

(2) 職員の安全衛生

①第1回衛生委員会

実施日・場所 平成27年6月26日(金) 市総合会館 3階 社会適応訓練室
 内容：平成27年度衛生委員会の実施計画案について
 第88回「全国安全週間」に伴う当法人の取り組みについて
 産業医講話「五月病及びサプリメントについて」

②第2回衛生委員会

実施日・場所 平成27年9月11日(金) 市総合会館 3階 社会適応訓練室
 内容：「産業医」による職場巡視を当日実施
 ⇒ 母子・父子福祉センター・中地域包括支援センター
 「職場の安全衛生について」巡視のチェックポイントの解説(中嶋産業医)
 「全国労働衛生週間」の実施に合わせ、本会も10月1日～7日「ゼロ災活動」を実施し、全職域にワッペンを配布

③第3回衛生委員会

実施日・場所 産業医に報告後決裁文書回覧にて衛生委員会に替える
 ⇒ 11月13日(金) 全委員合議決裁済み
 共栄作業所を視察
 内容：安全衛生委員による「職場巡視チェックリスト」の総括及び集計報告書を回覧

④第4回衛生委員会

実施日・場所 平成28年3月11日(金) 市総合会館 3階 社会適応訓練室
 内容：平成27年度「職員健康診断結果」を基に産業医の講評
 ストレスチェックについて(中嶋産業医)
 平成28年度本会の「年間安全衛生管理計画」
 ⇒ 「安全衛生に関する基本方針」及び「年間安全衛生目標・スローガン」の決定

(3) 職員研修の実施

職員の資質向上のため、全社協、県社協等が主催する派遣研修に202回、延べ384人を派遣した。また、本会主催研修として、所属長研修(各施設長等を対象)、新規採用職員研修、各職場研修、人権研修など20回、延べ391人が受講した。

(4) 資金貸付事業の実施

生活福祉資金は、平成27年度、緊急小口資金・臨時特例つなぎ資金が減少した。

①生活福祉資金貸付事業の実施

三重県社会福祉協議会が行う資金貸付事業で、低所得者、障害者、高齢者を対象に貸付の相談、申請、返済などの窓口を担当した。

※は貸付期間が複数年になるもの

資 金 の 種 類	貸付件数	貸 付 金 額
※教育支援費・就学支度費	5件	5,662,500円
障がい者自動車購入費	4件	3,821,000円
転宅費	4件	1,533,000円
療養費	1件	474,000円
技能習得費	2件	832,000円
福祉費（エアコン購入）	4件	333,000円
障がい者等福祉用具購入費	1件	475,000円
総合支援資金（生活支援費）	2件	427,000円
緊急小口資金	31件	2,730,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	100,000円
計	55件	16,387,500円

②資金貸付事業の実施

福祉金庫（A）は生活保護受給者、（B）はその他の低所得者を対象に市保護課と、国民健康保険高額療養費は市保険年金課と連携して貸付業務を行った。

資 金 の 種 類	貸付件数	貸 付 金 額
福祉金庫（A）	183件	2,459,640円
福祉金庫（B）	317件	9,240,000円
国民健康保険高額療養費	21件	2,296,000円
介護保険資金	0件	0円
計	521件	13,995,640円

(5) 実習生等の受け入れ

将来の福祉を担う人材育成を目的に、福祉専門職（社会福祉士・介護福祉士）や、看護師、または、小学校・中学校福祉体験、四日市市新規採用職員研修等を受け入れ、本会が持つ機能、役割などについて学ぶ機会を提供した。

種 別	人 数
社会福祉士	2
介護福祉士	2
ホームヘルパー	2
看護師	14
教員免許	3
インターンシップ	28
市新規採用職員	30
小・中職場体験	17
言語聴覚学専攻学生	4
その他（北勢きらら学園・ 県社会福祉協議会 職場実習）	3
合 計	105

(6) 財政基盤の安定化

①社会福祉協議会会費

会 費 の 種 類	会 員 数	会 費
普 通 会 員	1, 0 6 0人	7 6 2, 0 0 0円
団 体 会 員	3 5 6団体	3, 3 8 3, 7 5 5円
計	—	4, 1 4 5, 7 5 5円

②善意の基金

香典の一部または全部、チャリティ募金等を社会福祉のために、という趣旨の寄付で、基金の運用益等を地域福祉事業の財源としている。

	積立額	基金 (年度末現在)
平成27年度	4, 1 0 9, 3 2 5円	1 7 9, 1 6 9, 0 7 1円

③収益事業

a 「喫茶ふれあい」の経営

営 業 日 数	2 4 7日
年 間 総 収 入	1 0, 2 2 8, 5 8 1円
1 日 平均利用数	約4 6名
1 日 平均売上額	4 1, 4 1 1円
収益金 (法人運営事業繰入)	0円

b 「総合会館売店」の受託運営

営 業 日 数	2 5 3日
年 間 総 収 入	3 0, 2 3 4, 1 2 4円
1 日 平均利用数	約2 8 2名
1 日 平均売上額	1 1 9, 5 0 2円
収益金 (法人運営事業繰入)	1, 0 0 0, 0 0 0円

④共同募金運動 (三重県共同募金会四日市市共同募金委員会事業) の推進

10月1日・3日・4日にPRセレモニー・街頭募金を行った。

種 別	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達成率 (%)
一般募金	4 3, 0 9 8, 2 0 0	3 9, 4 5 0, 9 4 8	9 1. 5 3
歳末たすけあい 募金	1, 1 0 0, 0 0 0	2, 3 0 8, 5 1 8	2 0 9. 8
合 計	4 4, 1 9 8, 2 0 0	4 1, 7 5 9, 4 6 6	

⑤寄付金等

a 現金

趣 旨 など	寄 付 額
香典の全部または一部、チャリティバザー等	4, 1 0 9, 3 2 5円
上記以外の寄付 (企業から施設への指定寄付、NHK歳末募金等)	1 2 6, 9 0 0円
合 計	4, 2 3 6, 2 2 5円

b 物品寄贈

キーボード音声変換機、介護用電動ベッド、自走式車いす、車両、サウンドテーブル
テニス用卓球台、ボッチャセット など

⑥資産運用

自主財源の確保を目的に、本会資産運用規程（第39条第2項余裕資金の運用）に基づき、長期国債を中心とした資産運用を行い、今年度は利息により4,348,638円の利益があった。

（7）生活困窮者支援事業

平成27年7月から三重県社会福祉協議会が実施する生活困窮者支援事業に加わり、サービス提供した。

①生活困窮者支援緊急食糧提供事業（フードバンク）

延べ98名、134件

②緊急時物品等支援事業

1件：カセットコンロ貸与